

3. 写真管理

令和7年4月

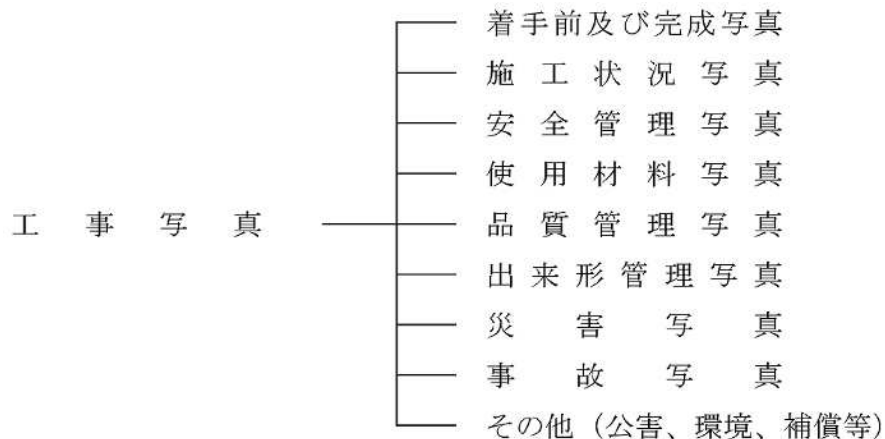
写 真 管 理

(1) 写真管理基準

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準6（3）に定める土木工事の工事写真（電子媒体によるものを含む）の撮影に適用する。また、写真を映像と読み替えることも可とする。

(2) 工事写真の分類

工事写真は次のように分類する。



(3) 工事写真の撮影及び提出頻度

1) 撮影頻度及び提出頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表に示すものとする。提出頻度は撮影箇所一覧表の提出頻度に示すものとする。

2) 特殊な場合で監督員が**指示**するものは、**指示**した項目を**指示**した頻度で撮影提出するものとする。

(4) 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

(5) 工事写真の省略

1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。

2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。

(6) 工事写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし『デジタル工事写真の小黑板情報電子化について』（令和2年3月17日付け建政第1896号または令和2年6月26日付け技管第355号）に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。

(7) 工事写真の色彩

写真はカラーとする。

(8) 工事写真の大きさ

写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。

ただし、次の場合は別の大きさとすることができる。

- 1) 着手前、完成写真等はキャビネ版又はパノラマ写真(つなぎ写真可)とすることができる。
- 2) 監督員が**指示**するものはその**指示**した大きさとする。

(9) 工事写真帳の大きさ

工事写真帳は、4切版のフリーアルバム又はA4版とする。

(10) 工事写真の提出部数及び形式

工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。

- 1) 工事写真として、工事写真帳を工事完成時に**1部提出**する。なお、ネガ又は電子媒体は受注者で**5年間保管**するものとし、監督員からネガ又は電子媒体提出の請求があった場合は提出するものとする。
- 2) 電子媒体は、CD-ROM、MOを原則とし、これ以外の電子媒体の場合については、監督員の**承諾**を得るものとする。
- 3) 電子媒体の記録画像ファイル形式はJPEG形式(非圧縮～圧縮率1/8まで)を原則とし、これ以外による場合には監督員の**承諾**を得るものとする。

(11) 工事写真の整理方法

写真は着手前、完成、工程、種別、細別又は名称ごとに分類し見やすいように定められた測点ごとに整理しなければならない。なお、電子媒体の整理方法は、監督員と**協議**して決めるものとする。

(12) 写真管理における留意事項

- 1) 撮影項目、提出頻度等は工事内容により不適切な場合は監督員の**指示**により追加、削減するものとする。
- 2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- 3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(取上げ寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- 4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図(撮影位置図、平面

図、凡例図、構造図など)を参考図として作成する。

- 5) 電子媒体による写真については、必要な文字、数値等の内容の判読ができる機能、精度を確保できる撮影機材を用いるものとする。(有効画素数 100 万画素以上、プリンターはフルカラー300dpi 以上、インク・用紙等は通常の使用条件のもとで**3年間程度**に顕著な劣化が生じないものとする。)
- 6) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については、監督員と写真管理項目を**協議**のうえ取り扱いを定めるものとする。
映像と読み替える場合は、以下も追加する。
- 7) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- 8) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps 程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督職員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

※電子媒体での写真整理については、

【大分県電子納品運用ガイドライン(大分県土木建築部)工事編】を参考にすること。

【大分県電子納品運用ガイドライン(大分県農林水産部)工事編】を参考にすること。

※本基準に示す品質管理の工種番号は、「土木工事施工管理基準及び規格値」(品質管理基準及び規格値)に示す工種番号と整合を取っている。

また、本基準に示す出来形管理の編章節番号は、「土木工事施工管理基準及び規格値」(出来形管理基準及び規格値)に示す編章節と整合を取っている。

【撮影箇所一覧表】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
撮影箇所一覧表(全体)				3-1

【第1編 共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第2章 土工				
第3節 河川土工・海岸土工・砂防土工	2-3-2 掘削工			3-2
	2-3-3 盛土工			3-2
	2-3-4 盛土補強工	補強土(テールアルメ)壁工法		3-2
		多数アンカー式補強土工法		3-2
		ジオテキスタイルを用いた補強土工法		3-2
	2-3-5 法面整形工	盛土部		3-3
2-3-6 堤防天端工			3-3	
第4節 道路土工	2-4-2 掘削工			3-3
	2-4-3 路体盛土工			3-3
	2-4-4 路床盛土工			3-3
	2-4-5 法面整形工	盛土部		3-4
第3章 無筋、鉄筋コンクリート				
第7節 鉄筋工	3-7-4 組立て			3-4

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第2章 一般施工				
第3節 共通の工種	2-3-4 矢板工	鋼矢板		3-5
		軽量鋼矢板		3-5
		コンクリート矢板		3-5
		広幅鋼矢板		3-5
		可とう鋼矢板		3-5
	2-3-5 縁石工	縁石・アスカーブ		3-5
	2-3-6 小型標識工			3-5
	2-3-7 防止柵工	立入防止柵		3-5
		転落(横断)防止柵		3-5
		車止めポスト		3-5
	2-3-8 路側防護柵工	ガードレール		3-5
		ガードケーブル		3-5
	2-3-9 区画線工			3-5
	2-3-10 道路付属物工	視線誘導標		3-5
		距離標		3-5
	2-3-11 コンクリート面塗装工			3-5
	2-3-12 プレテンション桁製作工(購入工)	けた橋		3-6
		スラブ桁		3-6
	2-3-13 ボンプレテンション桁製作工			3-6
	2-3-14 プレキャストセグメント主桁組立工	製作工(購入工)		3-6
		組立工		3-6
	2-3-15 PCボックススラブ製作工			3-6
	2-3-16 PC箱桁製作工	箱桁		3-6
		押出し箱桁		3-6
	2-3-17 根固ブロック工			3-7
	2-3-18 沈床工			3-7
	2-3-19 捨石工			3-7
2-3-22 階段工			3-7	
2-3-24 伸縮装置工	ゴムジョイント		3-7	
	鋼製フィンガージョイント		3-7	
2-3-26 多自然型護岸工	巨石張り、巨石積み		3-7	
	かごマット		3-7	
2-3-27 羽口工	じゃかご		3-7	
	ふとんかご、かご枠		3-7	

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3節 共通の工種	2-3-28プレキャストカルバート工	プレキャストボックス工		3-7
		プレキャストパイプ工		3-7
	2-3-29側溝工	側溝工		3-7
		場所打水路工		3-7
		暗渠工		3-7
2-3-30集水柵工			3-7	
2-3-31現場塗装工			3-8	
第4節 基礎工	2-4-1一般事項	切込砂利		3-8
		砕石基礎工		3-8
		割ぐり石基礎工		3-8
		均しコンクリート		3-8
	2-4-3基礎工（護岸）	現場打		3-8
		プレキャスト		3-8
	2-4-4既製杭工	既製コンクリート杭		3-8
		鋼管杭		3-8
		H鋼杭		3-8
		鋼管ソイルセメント杭		3-8
	2-4-5場所打杭工			3-8
2-4-6深礎工			3-8	
2-4-7オープンケーソン基礎工			3-9	
2-4-8ニューマチックケーソン基礎工			3-9	
2-4-9鋼管矢板基礎工			3-9	
第5節 石・ブロック積（張）工	2-5-3コンクリートブロック工	コンクリートブロック積		3-9
		コンクリートブロック張り		3-9
		連節ブロック張り		3-9
		天端保護ブロック		3-9
	2-5-4緑化ブロック工			3-9
2-5-5石積（張）工			3-10	
第6節 一般舗装工	2-6-7アスファルト舗装工	下層路盤工		3-10
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		3-10
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		3-11
		加熱アスファルト安定処理工		3-11
		基層工		3-11
		表層工		3-11
	2-6-8半たわみ性舗装工	下層路盤工		3-12
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		3-12
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		3-13
		加熱アスファルト安定処理工		3-13
		基層工		3-13
		表層工		3-13
	2-6-9排水性舗装工	下層路盤工		3-14
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		3-14
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		3-15
		加熱アスファルト安定処理工		3-15
		基層工		3-15
表層工			3-15	
2-6-10透水性舗装工	路盤工		3-15	
	表層工		3-16	

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第6節 一般舗装工	2-6-11 グラスアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		3-16	
		基層工		3-16	
		表層工		3-16	
	2-6-12 コンクリート舗装工	下層路盤工		3-16	
		粒度調整路盤工		3-16	
		セメント（石灰・瀝青）安定処理工		3-17	
		アスファルト中間層		3-17	
		コンクリート舗装版工		3-17	
		転圧コンクリート版工（下層路盤工）		3-18	
		転圧コンクリート版工（粒度調整路盤工）		3-18	
		転圧コンクリート版工（セメント（石灰・瀝青）安定処理工）		3-19	
		転圧コンクリート版工（アスファルト中間層）		3-19	
		転圧コンクリート版工		3-19	
		連続鉄筋コンクリート舗装工		3-19	
	2-6-13 薄層カラー舗装工	下層路盤工		3-20	
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		3-20	
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		3-20	
		加熱アスファルト安定処理工		3-21	
		基層工		3-21	
	2-6-14 ブロック舗装工	下層路盤工		3-21	
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		3-22	
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		3-22	
		加熱アスファルト安定処理工		3-22	
		基層工		3-22	
	2-6-15 路面切削工			3-23	
	2-6-16 舗装打換え工			3-23	
	2-6-17 オーバーレイ工			3-23	
	第7節 地盤改良工	2-7-2 路床安定処理工			3-23
		2-7-3 置換工			3-23
		2-7-4 表層安定処理工	サンドマット	第3編 2-7-6 サンドマット工	3-23
サンドマット海上				3-23	
2-7-5 パイルネット工				3-23	
2-7-6 サンドマット工				3-23	
2-7-7 バーチカルドレン工		サンドドレン工		3-23	
		ペーパードレン工		3-23	
		袋詰式サンドドレン工		3-23	
2-7-8 締固め改良工		サンドコンパクションパイル工		3-23	
2-7-9 固結工		粉末噴射攪拌工		3-23	
		高圧噴射攪拌工		3-23	
		スラリー攪拌工		3-23	
		生石灰パイル工		3-23	
	中層混合処理		3-24		

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第10節 仮設工	2-10-5 土留・仮締切工	H鋼杭		3-24
		鋼矢板		3-24
		アンカー工		3-24
		連節ブロック張り工		3-24
		締切盛土		3-24
		中詰盛土		3-24
	2-10-9 地中連続壁工（壁式）			3-24
2-10-10 地中連続壁工（柱列式）			3-24	
	2-10-22 法面吹付工		第3編 2-14-3 吹付工	3-24
第11節 軽量盛土工	2-11-2 軽量盛土工		第1編 2-4-3 路体盛土工	3-24
第12節 工場製作工(共通)	2-12-1 一般事項	鑄造費（金属支承工）		3-24
		鑄造費（大型ゴム支承工）		3-24
		仮設材製作工		3-24
		刃口金物製作工		3-24
	2-12-3 桁製作工	仮組立による検査を実施する場合		3-24
		ミルション仮組立検査を行う場合		3-24
		仮組立検査を実施しない場合		3-25
		鋼製堰堤製作工（仮組立時）		3-25
	2-12-4 検査路製作工			3-25
	2-12-5 鋼製伸縮継手製作工			3-25
	2-12-6 落橋防止装置製作工			3-25
	2-12-7 橋梁用防護柵製作工			3-25
	2-12-8 アンカーフレーム製作工			3-25
	2-12-9 プレベーム用桁製作工			3-25
2-12-10 鋼製排水管制作工			3-25	
2-12-11 工場塗装工			3-25	
第13節 橋梁仮設工	2-13 架設工（鋼橋）	クレーン架設		3-26
		ケーブルクレーン架設		3-26
		ケーブルエレクション架設		3-26
		架設桁架設		3-26
		送出し架設		3-26
		トラバラークレーン架設		3-26
第14節 法面工(共通)	2-14-2 植生工	種子散布工		3-26
		張芝工		3-26
		筋芝工		3-26
		市松芝工		3-26
		植生シート工		3-26
		植生マット工		3-26
		植生筋工		3-26
		人工張芝工		3-26
		植生穴工		3-26
		植生基材吹付工		3-26
		客土吹付工		3-26

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第14節 法面工(共通)	2-14-3 吹付工(仮設を含む)	コンクリート		3-26
		モルタル		3-26
	2-14-4 法枠工	現場打法枠工		3-26
		現場吹付法枠工		3-26
		プレキャスト法枠工		3-26
	2-14-6 アンカー工	アンカー工		3-27
第15節 擁壁工(共通)	2-15-1 一般事項	場所打擁壁工		3-27
	2-15-2 プレキャスト擁壁工			3-27
	2-15-3 補強土壁工	補強土(テールアルメ)壁工法	第1編2-4-3 路体盛土工	3-27
		多数アンカー式補強土工法	第1編2-4-3 路体盛土工	3-27
		ジオテキスタイルを用いた補強土工法	第1編2-4-3 路体盛土工	3-27
2-15-4 井桁ブロック工			3-27	
第16節 浚渫工(共通)	2-16-3 浚渫船運転工	ポンプ浚渫船		3-27
		グラブ浚渫船		3-27
第18節 床版工	2-18-2 床版工			3-27

【第4編 港湾編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3章 一般施工				
第3節 共通の工種	3-3-2 共通事項	ポンプ浚渫		3-28
		グラブ浚渫		3-28
		硬土盤浚渫		3-28
		砕岩浚渫		3-28
		バックホウ浚渫		3-28
	3-3-6 圧密・排水工	サンドドレーン		3-28
		敷砂		3-28
		敷砂均し		3-28
		載荷土砂		3-28
		ペーパードレン		3-28
	3-3-7 締固工	サンドコンパクションパイル		3-28
		敷砂	第4編3-3-6 圧密・排水工	3-28
		敷砂均し	第4編3-3-6 圧密・排水工	3-28
	3-3-8 固化工	深層混合処理杭		3-28
		敷砂	第4編3-3-6 圧密・排水工	3-28
		敷砂均し	第4編3-3-6 圧密・排水工	3-28
	3-3-9 洗掘防止工			3-29
	3-3-10 中詰工			3-29
	3-3-11 蓋コンクリート工			3-29
	3-3-13 鋼矢板工			3-29
3-3-14 控工	腹起		3-29	
	タイ材		3-29	
3-3-15 鋼杭工			3-29	
3-3-16 コンクリート杭			3-29	
3-3-17 防食工			3-32	
第5節 海上地盤改良工	3-5-2 床堀工			3-28
		ポンプ浚渫	第4編3-3-2 共通事項	3-28
		グラブ浚渫	第4編3-3-2 共通事項	3-28
		硬土盤浚渫	第4編3-3-2 共通事項	3-28
		砕岩浚渫	第4編3-3-2 共通事項	3-28
		バックホウ浚渫	第4編3-3-2 共通事項	3-28
	3-5-6 置換工			3-28
	3-5-7 圧密・排水工		第4編3-3-6 圧密・排水工	3-28
	3-5-8 締固工		第4編3-3-7 締固工	3-28
3-5-9 固化工		第4編3-3-8 固化工	3-28	
第6節 基礎工	3-6-3 洗掘防止工		第4編3-3-9 洗掘防止工	3-29
	3-6-4 基礎捨石工			3-30
	3-6-6 基礎ブロック工	基礎ブロック製作	第7編2-7-3 消波ブロック工	3-36
		基礎ブロック据付	第7編2-7-3 消波ブロック工	3-36
第7節 本体工(ケーソン式)	3-7-2 ケーソン製作工			3-30
	3-7-3 ケーソン進水据付工			3-30
	3-7-4 中詰工		第4編3-3-10 中詰工	3-29
	3-7-5 蓋コンクリート工		第4編3-3-11 蓋コンクリート工	3-29
第8節 本体工(ブロック式)	3-8-2 本体ブロック製作工			3-31
	3-8-3 本体ブロック据付工			3-31
	3-8-4 中詰工		第4編3-3-10 中詰工	3-29
	3-8-5 蓋コンクリート工		第4編3-3-11 蓋コンクリート工	3-29

【第4編 港湾編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第10節 本体工(捨石・捨ブロック式)	3-10-2 洗掘防止工		第4編3-3-9 洗掘防止工	3-29
	3-10-3 本体捨石工		第4編3-6-4 基礎捨石工	3-30
	3-10-4 捨ブロック工	捨ブロック製作	第7編2-7-3 消波ブロック工	3-36
捨ブロック据付		第7編2-7-3 消波ブロック工	3-36	
第11節 本体工(鋼矢板式)	3-11-2 鋼矢板工		第4編3-3-13 鋼矢板工	3-29
	3-11-3 控工		第4編3-3-14 控工	3-29
第12節 本体工(コンクリート矢板式)	3-12-2 コンクリート矢板工			3-29
	3-12-3 控工		第4編3-3-14 控工	3-29
第13節 本体工(鋼杭式)	3-13-2 鋼杭工		第4編3-3-15 鋼杭工	3-29
第14節 本体工(コンクリート杭式)	3-14-2 コンクリート杭工		第4編3-3-16 コンクリート杭工	3-29
第15節 被覆・根固工	3-15-2 被覆石工			3-30
	3-15-4 被覆ブロック工	被覆ブロック製作	第7編2-7-3 消波ブロック工	3-36
		被覆ブロック据付	第7編2-7-3 消波ブロック工	3-36
	3-15-5 根固ブロック工	根固ブロック製作	第7編2-7-3 消波ブロック工	3-36
根固ブロック据付		第7編2-7-3 消波ブロック工	3-36	
第16節 上部工	3-16-2 上部コンクリート工			3-31
	3-16-3 上部ブロック工	上部ブロック製作	第7編2-7-3 消波ブロック工	3-36
		上部ブロック据付	第7編2-7-3 消波ブロック工	3-36
第17節 付属工	3-17-2 係船柱工			3-32
	3-17-3 防舷材工			3-32
	3-17-4 車止・縁金物工			3-32
	3-17-5 防食工		第4編3-3-17 防食工	3-32
第18節 消波工	3-18-2 洗掘防止工		第4編3-3-9 洗掘防止工	3-29
	3-18-3 消波ブロック工	消波ブロック製作		3-31
		消波ブロック据付		3-31
第19節 裏込・裏埋工	3-19-2 裏込工			3-32
	3-19-4 裏埋工			3-32
第20節 維持補修工	3-20-3 防食工		第4編3-3-17 防食工	3-32
第21節 仮設工	3-21-2 仮設鋼矢板工		第4編3-3-13 鋼矢板工 3-3-15 鋼杭工	3-29
	3-21-3 仮設鋼管杭・鋼管矢板工		第4編3-3-13 鋼矢板工 3-3-15 鋼杭工	3-29

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第3節 軽量盛土工	1-3-1 軽量盛土工		第1編 2-4-3 路体盛土工	3-3	
第4節 地盤改良工	1-4-2 表層安定処理工		第3編 2-7-4 表層安定処理工	3-23	
	1-4-3 パイルネット工		第3編 2-7-5 パイルネット工	3-25	
	1-4-4 バーチカルドレーン工		第3編 2-7-7 バーチカルドレーン工	3-23	
	1-4-5 締固改良工		第3編 2-7-8 締固改良工	3-23	
	1-4-6 固結工		第3編 2-7-9 固結工	3-23	
第5節 護岸基礎工	1-5-3 基礎工		第3編 2-4-3 基礎工（護岸）	3-8	
	1-5-4 矢板工		第3編 2-3-4 矢板工	3-5	
第6節 矢板護岸工	1-6-3 笠コンクリート工		第3編 2-4-3 基礎工（護岸）	3-8	
	1-6-4 矢板工		第3編 2-3-4 矢板工	3-5	
第7節 法覆護岸工	1-7-3 コンクリートブロック工		第3編 2-5-3 コンクリートブロック工	3-9	
	1-7-4 護岸付属物工			3-33	
	1-7-5 緑化ブロック工		第3編 2-5-4 緑化ブロック工	3-9	
	1-7-6 環境護岸ブロック工		第3編 2-5-3 コンクリートブロック工	3-9	
	1-7-7 石積（張）工		第3編 2-5-5 石積（張）工	3-10	
	1-7-8 法枠工		第3編 2-14-4 法枠工	3-26	
	1-7-9 多自然型護岸工	巨石張り		第3編 2-3-26 多自然型護岸工	3-7
		巨石積み		第3編 2-3-26 多自然型護岸工	3-7
		かごマット		第3編 2-3-26 多自然型護岸工	3-7
	1-7-10 吹付工		第3編 2-14-3 吹付工	3-26	
	1-7-11 植生工		第3編 2-14-2 植生工	3-26	
	1-7-12 覆土工		第1編 2-3-5 法面整形工	3-3	
	1-7-13 羽口工	じゃかご		第3編 2-3-27 羽口工	3-7
		ふとんかご		第3編 2-3-27 羽口工	3-7
		かご枠		第3編 2-3-27 羽口工	3-7
連節ブロック張り			第3編 2-5-3-2 連節ブロック張り	3-9	
第8節 擁壁護岸工	1-8-3 場所打擁壁工		第3編 2-15-1 場所打擁壁工	3-27	
	1-8-4 プレキャスト擁壁工		第3編 2-15-2 プレキャスト擁壁工	3-27	
第9節 根固め工	1-9-3 根固めブロック工		第3編 2-3-17 根固めブロック	3-7	
	1-9-5 沈床工		第3編 2-3-18 沈床工	3-7	
	1-9-6 捨石工		第3編 2-3-19 捨石工	3-7	
	1-9-7 かご工	じゃかご		第3編 2-3-27 羽口工	3-7
		ふとんかご		第3編 2-3-27 羽口工	3-7
第10節 水制工	1-10-3 沈床工		第3編 2-3-18 沈床工	3-7	
	1-10-4 捨石工		第3編 2-3-19 捨石工	3-7	
	1-10-5 かご工	じゃかご		第3編 2-3-27 羽口工	3-7
		ふとんかご		第3編 2-3-27 羽口工	3-7
	1-10-8 杭出し水制工			3-33	
第11節 付帯道路工	1-11-3 路側防護柵工		第3編 2-3-8 路側防護柵工	3-5	
	1-11-5 アスファルト舗装工		第3編 2-6-7 アスファルト舗装工	3-10	
	1-11-6 コンクリート舗装工		第3編 2-6-12 コンクリート舗装工	3-16	
	1-11-7 薄層カラー舗装工		第3編 2-6-13 薄層カラー舗装工	3-20	
	1-11-8 ブロック舗装工		第3編 2-6-14 ブロック舗装工	3-21	
	1-11-9 側溝工		第3編 2-3-29 側溝工	3-7	
	1-11-10 集水樹工		第3編 2-3-30 集水樹工	3-7	
	1-11-11 縁石工		第3編 2-3-5 縁石工	3-5	
	1-11-12 区画線工		第3編 2-3-9 区画線工	3-5	

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第12節 付帯道路施設工	1-12-3 道路付属物工		第3編 2-3-10 道路付属物工	3-5	
	1-12-4 標識工		第3編 2-3-6 小型標識工	3-5	
第13節 光ケーブル配管工	1-13-3 配管工			3-33	
	1-13-4 ハンドホール工			3-33	
第2章 浚渫(川)					
第2節 浚渫工(ポンプ浚渫船)	2-2-2 浚渫船運転工 (民船・官船)		第3編 2-16-3 浚渫船運転工	3-27	
第3節 浚渫工(グラブ浚渫船)	2-3-2 浚渫船運転工		第3編 2-16-3 浚渫船運転工	3-27	
第4節 浚渫工(バックホウ浚渫船)	2-4-2 浚渫船運転工		第3編 2-16-3 浚渫船運転工	3-27	
第3章 樋門・樋管					
第3節 軽量盛土工	3-3-2 軽量盛土工		第1編 2-4-3 路体盛土工	3-3	
第4節 地盤改良工	3-4-2 固結工		第3編 2-7-9 固結工	3-23	
第5節 樋門・樋管本体工	3-5-3 既製杭工		第3編 2-4-4 既製杭工	3-8	
	3-5-4 場所打杭工		第3編 2-4-5 場所打杭工	3-8	
	3-5-5 矢板工		第3編 2-3-4 矢板工	3-5	
	3-5-6 函渠工	本体工			3-33
		ヒューム管			3-33
		PC管			3-33
		コルゲートパイプ			3-33
		ダクタイル鋳鉄管			3-33
PC函渠	第3編 2-3-28 プレキャストカルバート工			3-7	
3-5-7 翼壁工				3-33	
3-5-8 水叩工				3-33	
第6節 護床工	3-6-3 根固めブロック工		第3編 2-3-17 根固めブロック工	3-7	
	3-6-5 沈床工		第3編 2-3-18 沈床工	3-7	
	3-6-6 捨石工		第3編 2-3-19 捨石工	3-7	
	3-6-7 かご工	じゃかご	第3編 2-3-27 羽口工	3-7	
ふとんかご		第3編 2-3-27 羽口工	3-7		
第7節 水路工	3-7-3 側溝工		第3編 3-2-29 側溝工	3-7	
	3-7-4 集水樹工		第3編 2-3-30 集水樹工	3-7	
	3-7-5 暗渠工		第3編 2-3-29 暗渠工	3-7	
	3-7-6 樋門接続暗渠工		第3編 2-3-28 プレキャストカルバート工	3-7	
第7節 付属物設置工	3-8-3 防止柵工		第3編 2-3-7 防止柵工	3-5	
	3-8-7 階段工		第3編 2-3-22 階段工	3-7	
第4章 水門					
第3節 工場製作工	4-3-3 桁製作工		第3編 2-12-3 桁製作工	3-24	
	4-3-4 鋼製伸縮継手製作工		第3編 2-12-5 鋼製伸縮継手製作工	3-25	
	4-3-5 落橋防止装置製作工		第3編 2-12-6 落橋防止装置製作工	3-25	
	4-3-6 鋼製排水管製作工		第3編 2-12-10 鋼製排水管製作工	3-25	
	4-3-7 橋梁用防護柵製作工		第3編 2-12-7 橋梁用防護柵製作工	3-25	
	4-3-8 鋳造費		第3編 2-12-1 鋳造費	3-24	
	4-3-9 仮設材製作工		第3編 2-12-1 仮設材製作工	3-24	
	4-3-10 工場塗装工		第3編 2-12-11 工場塗装工	3-25	
第5節 軽量盛土工	4-5-2 軽量盛土工		第1編 2-4-3 路体盛土工	3-3	
第6節 水門本体工	4-6-4 既製杭工		第3編 2-4-4 既製杭工	3-8	
	4-6-5 場所打杭工		第3編 2-4-5 場所打杭工	3-8	
	4-6-6 矢板工(遮水矢板)		第3編 2-3-4 矢板工	3-5	
	4-6-7 床版工			3-33	
	4-6-8 堰柱工			3-33	

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第6節 水門本体工	4-6-9 門柱工			3-33
	4-6-10 ゲート操作台工			3-33
	4-6-11 胸壁工			3-33
	4-6-12 翼壁工		第6編 3-5-7 翼壁工	3-33
	4-6-13 水叩工		第6編 3-5-8 水叩工	3-33
第7節 護床工	4-7-3 根固めブロック工		第3編 2-3-17 根固めブロック	3-7
	4-7-5 沈床工		第3編 2-3-18 沈床工	3-7
	4-7-6 捨石工		第3編 2-3-19 捨石工	3-7
	4-7-7 かご工	じゃかご	第3編 2-3-27 羽口工	3-7
		ふとんかご	第3編 2-3-27 羽口工	3-7
第8節 付属物設置工	4-8-3 防止柵工		第3編 2-3-7 防止柵工	3-5
	4-8-8 階段工		第3編 2-3-22 階段工	3-7
第9節 鋼管理橋上部工	4-9-4 架設工(クレーン架設)		第3編 2-13 架設工(クレーン架設)	3-26
	4-9-5 架設工(ケーブルクレーン架設)		第3編 2-13 架設工(ケーブルクレーン架設)	3-26
	4-9-6 架設工(ケーブルエレクション架設)		第3編 2-13 架設工(ケーブルエレクション架設)	3-26
	4-9-7 架設工(架設桁架設)		第3編 2-13 架設工(架設桁架設)	3-26
	4-9-8 架設工(送出し架設)		第3編 2-13 架設工(送出し架設)	3-26
	4-9-9 架設工(トラバークレーン架設)		第3編 2-13 架設工(トラバークレーン架設)	3-26
	4-9-10 支承工			3-33
第10節 橋梁現場塗装工	4-10-2 現場塗装工		第3編 2-3-31 現場塗装工	3-8
第11節 床版工	4-11-2 床版工		第3編 2-18-2 床版工	3-27
第12節 橋梁付属物工(鋼管理橋)	4-12-2 伸縮装置工		第3編 2-3-24 伸縮装置工	3-7
	4-12-4 地覆工			3-34
	4-12-5 橋梁用防護柵工			3-34
	4-12-6 橋梁用高欄工			3-34
	4-12-7 検査路工			3-34
第14節 コンクリート管理橋上部工(PC橋)	4-14-2 プレテンション桁製作工(購入工)		第3編 2-3-12 プレテンション桁製作工(購入工)	3-6
	4-14-3 ポストテンション桁製作工		第3編 2-3-13 ポストテンション桁製作工	3-6
	4-14-4 プレキャストセグメント製作工(購入工)		第3編 2-3-14 プレキャストセグメント製作工(購入工)	3-6
	4-14-5 プレキャストセグメント主桁組立工		第3編 2-3-14 プレキャストセグメント主桁組立工	3-6
	4-14-6 支承工		第6編 4-9-10 支承工	3-33
	4-14-7 架設工(クレーン架設)		第3編 2-13 架設工(クレーン架設)	3-26
	4-14-8 架設工(架設桁架設)		第3編 2-13 架設工(架設桁架設)	3-26
	4-14-9 床版・横組工		第3編 2-18-2 床版工	3-27
	4-14-10 落橋防止装置工		第10編 4-8-3 落橋防止装置工	3-41
第15節 コンクリート管理橋上部工(PCホロースラブ橋)	4-15-2 架設支保工(固定)		第3編 2-13 架設工	3-26
	4-15-3 支承工		第6編 4-9-10 支承工	3-33
	4-15-4 落橋防止装置工		第10編 4-8-3 落橋防止装置工	3-41
	4-15-5 PCホロースラブ製作工		第3編 2-3-15 PCホロースラブ製作工	3-6
	第16節 橋梁付属物工(コンクリート管理橋)	4-16-2 伸縮装置工		第3編 2-3-24 伸縮装置工
4-16-4 地覆工			第6編 4-12-4 地覆工	3-34
4-16-5 橋梁用防護柵工			第6編 4-12-5 橋梁用防護柵工	3-34
4-16-6 橋梁用高欄工			第6編 4-12-6 橋梁用高欄工	3-34
4-16-7 検査路工			第6編 4-12-7 検査路工	3-34
第18節 舗装工	4-18-5 アスファルト舗装工		第3編 2-6-7 アスファルト舗装工	3-10
	4-18-6 半たわみ性舗装工		第3編 2-6-8 半たわみ性舗装工	3-12

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第18節 舗装工	4-18-7 排水性舗装工		第3編 2-6-9 排水性舗装工	3-14	
	4-18-8 透水性舗装工		第3編 2-6-10 透水性舗装工	3-15	
	4-18-9 グースアスファルト舗装工		第3編 2-6-11 グースアスファルト舗装工	3-16	
	4-18-10 コンクリート舗装工		第3編 2-6-12 コンクリート舗装工	3-16	
	4-18-11 薄層カラー舗装工		第3編 2-6-13 薄層カラー舗装工	3-20	
	4-18-12 ブロック舗装工		第3編 2-6-14 ブロック舗装工	3-21	
第5章 堰					
第3節 工場製作工	5-3-3 刃口金物製作工		第3編 2-12-1 刃口金物製作工	3-24	
	5-3-4 桁製作工		第3編 2-12-3 桁製作工	3-24	
	5-3-5 検査路製作工		第3編 2-12-4 検査路製作工	3-25	
	5-3-6 鋼製伸縮継手製作工		第3編 2-12-5 鋼製伸縮継手製作工	3-25	
	5-3-7 落橋防止装置製作工		第3編 2-12-6 落橋防止装置製作工	3-25	
	5-3-8 鋼製排水管製作工		第3編 2-12-10 鋼製排水管製作工	3-25	
	5-3-9 プレビーム用桁製作工		第3編 2-12-9 プレビーム用桁製作工	3-25	
	5-3-10 橋梁用防護柵製作工		第3編 2-12-7 橋梁用防護柵製作工	3-25	
	5-3-11 鋳造費		第3編 2-12-1 鋳造費	3-24	
	5-3-12 アンカーフレーム製作工		第3編 2-12-8 アンカーフレーム製作工	3-25	
	5-3-13 仮設材製作工		第3編 2-12-1 仮設材製作工	3-24	
	5-3-14 工場塗装工		第3編 2-12-11 工場塗装工	3-25	
第5節 軽量盛土工	5-5-2 軽量盛土工		第1編 2-4-3 路体盛土工	3-3	
第6節 可動堰本体工	5-6-3 既製杭工		第3編 2-4-4 既製杭工	3-8	
	5-6-4 場所打杭工		第3編 2-4-5 場所打杭工	3-8	
	5-6-5 オープンケーソン基礎工		第3編 2-4-7 オープンケーソン基礎工	3-9	
	5-6-6 ニューマチックケーソン基礎工		第3編 2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	3-9	
	5-6-7 矢板工		第3編 2-3-4 矢板工	3-5	
	5-6-8 床版工		第3編 2-18-2 床版工	3-27	
	5-6-9 堰柱工		第6編 4-6-8 堰柱工	3-33	
	5-6-10 門柱工		第6編 4-6-9 門柱工	3-33	
	5-6-11 ゲート操作台工		第6編 4-6-10 ゲート操作台工	3-33	
	5-6-12 水叩工		第6編 3-5-8 水叩工	3-33	
	5-6-13 閘門工			3-34	
	5-6-14 土砂吐工			3-34	
5-6-15 取付擁壁工		第3編 2-15-1 場所打擁壁工	3-203		
第7節 固定堰本体工	5-7-3 既製杭工		第3編 2-4-4 既製杭工	3-8	
	5-7-4 場所打杭工		第3編 2-4-5 場所打杭工	3-8	
	5-7-5 オープンケーソン基礎工		第3編 2-4-7 オープンケーソン基礎工	3-9	
	5-7-6 ニューマチックケーソン基礎工		第3編 2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	3-9	
	5-7-7 矢板工		第3編 2-3-4 矢板工	3-5	
	5-7-8 堰本体工			3-34	
	5-7-9 水叩工			3-34	
	5-7-10 土砂吐工			3-34	
	5-7-11 取付擁壁工		第3編 2-15-1 場所打擁壁工	3-27	
	第8節 魚道工	5-8-3 魚道本体工			3-34
	第9節 管理橋下部工	5-9-2 管理橋橋台工			3-34
第10節 鋼管理橋上部工	5-10-4 架設工（クレーン架設）		第3編 2-13 架設工（クレーン架設）	3-26	
	5-10-5 架設工（ケーブルクレーン架設）		第3編 2-13 架設工（ケーブルクレーン架設）	3-26	

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第10節 鋼管理橋上部工	5-10-6 架設工(ケーブルエレクション架設)		第3編2-13 架設工(ケーブルエレクション架設)	3-26
	5-10-7 架設工(架設桁架設)		第3編2-13 架設工(架設桁架設)	3-26
	5-10-8 架設工(送出し架設)		第3編2-13 架設工(送出し架設)	3-26
	5-10-9 架設工(トラバークレーン架設)		第3編2-13 架設工(トラバークレーン架設)	3-26
	5-10-10 支承工		第6編4-9-10 支承工	3-33
第11節 橋梁現場塗装工	5-11-2 現場塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	3-8
第12節 床版工	5-12-2 床版工		第3編2-18-2 床版工	3-27
第13節 橋梁付属物工(鋼管理橋)	5-13-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工	3-7
	5-13-4 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	3-34
	5-13-5 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	3-34
	5-13-6 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	3-34
	5-13-7 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	3-34
第15節 コンクリート管理橋上部工(PC橋)	5-15-2 プレテンション桁製作工(購入工)		第3編2-3-12 プレテンション桁製作工(購入工)	3-6
	5-15-3 ポストテンション桁製作工		第3編2-3-13 ポストテンション桁製作工	3-6
	5-15-4 プレキャストセグメント製作工(購入工)		第3編2-3-14 プレキャストセグメント製作工(購入工)	3-6
	5-15-5 プレキャストセグメント主桁組立工		第3編2-3-14 プレキャストセグメント主桁組立工	3-6
	5-15-6 支承工		第6編4-9-10 支承工	3-33
	5-15-7 架設工(クレーン架設)		第3編2-13 架設工(クレーン架設)	3-26
	5-15-8 架設工(架設桁架設)		第3編2-13 架設工(架設桁架設)	3-26
	5-15-9 床版・横組工		第3編2-18-2 床版工	3-27
5-15-10 落橋防止装置工		第10編4-8-3 落橋防止装置工	3-41	
第16節 コンクリート管理橋上部工(PC橋ホロースラブ橋)	5-16-2 架設支保工(固定)		第3編2-13 架設工	3-26
	5-16-3 支承工		第6編4-9-10 支承工	3-33
	5-16-4 落橋防止装置工		第10編4-8-3 落橋防止装置工	3-41
	5-16-5 PCホロースラブ製作工		第3編2-3-15 PCホロースラブ製作工	3-6
	第17節 コンクリート管理橋上部工(PC箱桁橋)	5-17-2 架設支保工(固定)		第3編2-13 架設工
5-17-3 支承工			第6編4-9-10 支承工	3-33
5-17-4 PC箱桁製作工			第3編2-3-16 PC箱桁製作工	3-6
5-17-5 落橋防止装置工			第10編4-8-3 落橋防止装置工	3-41
第18節 橋梁付属物工(コンクリート管理橋)		5-18-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工
	5-18-4 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	3-34
	5-18-5 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	3-34
	5-18-6 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	3-34
	5-18-7 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	3-34
第20節 付属物設置工	5-20-3 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	3-5
	5-20-7 階段工		第3編2-3-22 階段工	3-7
第6章 排水機場				
第3節 軽量盛土工	6-3-2 軽量盛土工		第1編2-4-3 路体盛土工	3-3
第4節 機場本体工	6-4-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	3-8
	6-4-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	3-8
	6-4-5 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	3-5
	6-4-6 本体工			3-34
	6-4-7 燃料貯油槽工			3-34
第5節 沈砂池工	6-5-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	3-8
	6-5-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	3-8
	6-5-5 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	3-5
	6-5-6 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	3-27
	6-5-7 コンクリート床版工			3-34

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第5節 沈砂池工	6-5-8ブロック床版工		第3編2-3-17根固めブロック	3-7	
	6-5-9場所打水路工		第3編3-2-29場所打水路工	3-7	
第6節 吐出水槽工	6-6-3既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	3-8	
	6-6-4場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	3-8	
	6-6-5矢板工		第3編2-3-4矢板工	3-5	
	6-6-6本体工		第6編6-4-6本体工	3-34	
第7章 床止め・床固め					
第3節 軽量盛土工	7-3-2軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3-3	
第4節 床止め工	7-4-4既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	3-8	
	7-4-5矢板工		第3編2-3-4矢板工	3-5	
	7-4-6本体工	床固め本体工			3-34
		巨石張り	第3編2-5-5石積(張)工	3-10	
		根固めブロック	第3編2-3-17根固めブロック	3-7	
	7-4-7取付擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	3-27	
	7-4-8水叩工			3-34	
		巨石張り	第3編2-3-26多自然型護岸工	3-7	
根固めブロック	第3編2-3-17根固めブロック	3-7			
第5節 床固め工	7-5-4本堤工		第6編7-4-6本体工	3-34	
	7-5-5垂直壁工		第6編7-4-6本体工	3-34	
	7-5-6側壁工			3-34	
	7-5-7水叩工		第6編7-4-8水叩工	3-34	
第6節 山留擁壁工	7-6-3コンクリート擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	3-27	
	7-6-4ブロック積擁壁工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	3-9	
	7-6-5石積擁壁工		第3編2-5-5石積(張)工	3-10	
	7-6-6山留擁壁基礎工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	3-8	
第8章 河川維持					
第7節 路面補修工	8-7-3不陸整正工		第1編2-3-6堤防天端工	3-3	
	8-7-4コンクリート舗装補修工		第3編2-6-12コンクリート舗装工	3-16	
	8-7-5アスファルト舗装補修工		第3編2-6-7アスファルト舗装工	3-10	
第8節 付属物復旧工	8-8-2付属物復旧工		第3編2-3-8路側防護柵工	3-5	
第9節 付属物設置工	8-9-3防護柵工		第3編2-3-7防止柵工	3-5	
	8-9-5付属物設置工		第3編2-3-10道路付属物工	3-5	
第10節 光ケーブル配管工	8-10-3配管工		第6編1-13-3配管工	3-33	
	8-10-4ハンドホール工		第6編1-13-4ハンドホール工	3-33	
第12節 植栽維持工	8-12-3樹木・芝生管理工		第3編2-14-2植生工	3-26	
第9章 河川修繕					
第3節 軽量盛土工	9-3-2軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3-3	
第4節 腹付工	9-4-2覆土工		第1編2-3-5法面整形工	3-3	
	9-4-3植生工		第3編2-14-2植生工	3-26	
第5節 側帯工	9-5-2縁切工	じゃかご工	第3編2-3-27羽口工	3-7	
		連節ブロック張り	第3編2-5-3コンクリートブロック工(連結ブロック張り)	3-9	
		コンクリートブロック張り	第3編2-5-3コンクリートブロック工	3-9	
		石張り	第3編2-5-5石積(張)工	3-10	
	9-5-3植生工		第3編2-14-2植生工	3-26	
第6節 堤脚保護工	9-6-3石積工		第3編2-5-5石積(張)工	3-10	
	9-6-4コンクリートブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	3-9	
第7節 管理用通路工	9-7-2防護柵工		第3編2-3-8路側防護柵工	3-5	
	9-7-4路面切削工		第3編2-6-15路面切削工	3-23	
	9-7-5舗装打換え工		第3編2-6-16舗装打換え工	3-23	
	9-7-6オーバーレイ工		第3編2-6-17オーバーレイ工	3-23	
	9-7-7排水構造物工	プレキャストU型側溝・管(函)渠	第3編2-3-29側溝工	3-7	
		集水樹工	第3編2-3-30集水樹工	3-7	
	9-7-8道路付属物工	歩車道境界ブロック	第3編2-3-5縁石工	3-5	
第8節 現場塗装工	9-8-3付属物塗装工		第3編2-3-31現場塗装工	3-8	
	9-8-4コンクリート面塗装工		第3編2-3-11コンクリート面塗装工	3-5	

【第7編 河川海岸編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 堤防・護岸				
第3節 軽量盛土工	1-3-1 軽量盛土工		第1編2-4-3 路体盛土工	3-3
第4節 地盤改良工	1-4-2 表層安定処理工		第3編2-7-4 表層安定処理工	3-23
	1-4-3 パイルネット工		第3編2-7-5 パイルネット工	3-23
	1-4-4 パーチカルドレーン工		第3編2-7-7 パーチカルドレーン工	3-23
	1-4-5 締固改良工		第3編2-7-8 締固改良工	3-23
	1-4-6 固結工		第3編2-7-9 固結工	3-23
第5節 護岸基礎工	1-5-4 捨石工		第3編2-3-19 捨石工	3-7
	1-5-5 場所打コンクリート工			3-35
	1-5-6 海岸コンクリートブロック工			3-35
	1-5-7 笠コンクリート工		第3編2-4-3 基礎工（護岸）	3-8
	1-5-8 基礎工		第3編2-4-3 基礎工（護岸）	3-8
	1-5-9 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	3-5
第6節 護岸工	1-6-3 石積（張）工		第3編2-5-5 石積（張）工	3-10
	1-6-4 海岸コンクリートブロック工			3-35
	1-6-5 コンクリート被覆工			3-35
第7節 擁壁工	1-7-3 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	3-27
第8節 天端被覆工	1-8-2 コンクリート被覆工			3-35
第9節 波返工	1-9-3 波返工			3-35
第10節 裏法被覆工	1-10-2 石積（張）工		第3編2-5-5 石積（張）工	3-10
	1-10-3 コンクリートブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	3-9
	1-10-4 コンクリート被覆工		第7編1-6-5 コンクリート被覆工	3-35
	1-10-5 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	3-26
第11節 カルパート工	1-11-3 プレキャストカルパート工		第3編2-3-28 プレキャストカルパート工	3-7
第12節 排水構造物工	1-12-3 側溝工		第3編2-3-29 側溝工	3-7
	1-12-4 集水柵工		第3編2-3-30 集水柵工	3-7
	1-12-5 管渠工	プレキャストパイプ	第3編2-3-29 暗渠工	3-7
		プレキャストボックス	第3編2-3-29 暗渠工	3-7
		コルゲートパイプ	第3編2-3-29 暗渠工	3-7
	1-12-5 管渠工	タグタイル鉄管	第3編2-3-29 暗渠工	3-7
1-12-6 場所打水路工		第3編3-2-29 場所打水路工	3-7	
第13節 付属物設置工	1-13-3 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	3-5
	1-13-6 階段工		第3編2-3-22 階段工	3-7
第14節 付帯道路工	1-14-3 路側防護柵工		第3編2-3-8 路側防護柵工	3-5
	1-14-5 アスファルト舗装工		第3編2-6-7 アスファルト舗装工	3-10
	1-14-6 コンクリート舗装工		第3編2-6-12 コンクリート舗装工	3-16
	1-14-7 薄層カラー舗装工		第3編2-6-13 薄層カラー舗装工	3-20
	1-14-8 側溝工		第3編2-3-29 側溝工	3-7
	1-14-9 集水柵工		第3編2-3-30 集水柵工	3-7
	1-14-10 縁石工		第3編2-3-5 縁石工	3-5
	1-14-11 区画線工		第3編2-3-9 区画線工	3-5
第15節 付帯道路施設工	1-15-3 道路付属物工		第3編2-3-10 道路付属物工	3-5
	1-15-4 小型標識工		第3編2-3-6 小型標識工	3-5

【第7編 河川海岸編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第2章 突堤・人工岬					
第3節 軽量盛土工	2-3-2 軽量盛土工		第1編 2-4-3 路体盛土工	3-3	
第4節 突堤基礎工	2-4-4 捨石工			3-35	
	2-4-5 吸出し防止工			3-35	
第5節 突堤本体工	2-5-2 捨石工			3-35	
	2-5-5 海岸コンクリートブロック工			3-35	
	2-5-6 既製杭工		第3編 2-4-4 既製杭工	3-8	
第5節 突堤本体工	2-5-7 詰杭工		第3編 2-4-4 既製杭工	3-8	
	2-5-8 矢板工		第3編 2-3-4 矢板工	3-5	
	2-5-9 石枠工			3-35	
	2-5-10 場所打コンクリート工			3-35	
	2-5-11 ケーソン工	ケーソン工製作			3-35
		ケーソン工据付			3-36
	2-5-12 セルラー工	突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)			3-36
		セルラー工製作			3-36
	2-5-12 セルラー工	セルラー工据付			3-36
		突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)			3-36
第6節 根固め工	2-6-2 捨石工			3-36	
	2-6-3 根固めブロック工			3-36	
第7節 消波工	2-7-2 捨石工		第3編 2-3-19 捨石工	3-7	
	2-7-3 消波ブロック工			3-36	
第3章 海域堤防(人工リーフ、離岸堤、潜堤)					
第3節 海域堤基礎工	3-3-3 捨石工			3-36	
	3-3-4 吸出し防止工		第7編 2-4-5 吸出し防止工	3-35	
第4節 海域堤本体工	3-4-2 捨石工		第3編 2-3-19 捨石工	3-7	
	3-4-3 海岸コンクリートブロック工		第7編 2-5-5 海岸コンクリートブロック工	3-35	
	3-4-4 ケーソン工		第7編 2-5-11 ケーソン工	3-35	
	3-4-5 セルラー工		第7編 2-5-12 セルラー工	3-36	
	3-4-6 場所打コンクリート工		第7編 2-5-10 場所打ちコンクリート工	3-35	
第4章 浚渫(海岸)					
第2節 浚渫工(ポンプ浚渫船)	4-2-2 浚渫船運転工		第3編 2-16-3 浚渫船運転工	3-27	
第3節 浚渫工(グラブ船)	4-3-2 浚渫船運転工		第3編 2-16-3 浚渫船運転工	3-27	
第5章 養浜					
第3節 砂止工	5-3-2 根固めブロック工		第3編 2-3-17 根固めブロック	3-7	

【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 砂防堰堤				
第3節 工場製作工	1-3-3 鋼製堰堤製作工		第3編 2-12-3-3 桁製作工 (鋼製堰堤製作工 (仮組立時))	3-25
	1-3-4 鋼製堰堤仮設材 製作工			3-37
	1-3-5 工場塗装工		第3編 2-12-11 工場塗装工	3-25
第5節 軽量盛土工	1-5-2 軽量盛土工		第1編 2-4-3 路体盛土工	3-3
第6節 法面工	1-6-2 植生工		第3編 2-14-2 植生工	3-26
	1-6-3 法面吹付け工		第3編 2-14-3 吹付工	3-26
	1-6-4 法枠工		第3編 2-14-4 法枠工	3-26
	1-6-6 アンカー工		第3編 2-14-6 アンカー工	3-27
	1-6-7 かご工	じゃかご ふとんかご	第3編 2-3-27 羽口工 第3編 2-3-27 羽口工	3-7 3-7
第8節 コンクリート堰堤工	1-8-4 コンクリート堰 堤本体工			3-37
	1-8-5 コンクリート副 堰堤工		第8編 1-8-4 コンクリート堰 堤本体工	3-37
	1-8-6 コンクリート側 壁工			3-37
	1-8-8 水叩工			3-37
第9節 鋼製堰堤工	1-9-5 鋼製堰堤本体工	不透過型 透過型		3-37 3-37
	1-9-6 鋼製側壁工			3-37
	1-9-7 コンクリート側 壁工		第8編 1-8-6 コンクリート側 壁工	3-37
	1-9-9 水叩工		第8編 1-8-8 水叩工	3-37
	1-9-10 現場塗装工		第3編 2-3-31 現場塗装工	3-25
	第10節 護床工・根固め工	1-10-4 根固めブロック 工		第3編 2-3-17 根固めブロック
1-10-6 沈床工			第3編 2-3-18 沈床工	3-7
1-10-7 かご工		じゃかご ふとんかご	第3編 2-3-27 羽口工 第3編 2-3-27 羽口工	3-7 3-7
第11節 砂防堰堤付属物設置工		1-11-3 防止柵工		第3編 2-3-7 防止柵工
第12節 付帯道路工	1-12-3 路側防護柵工		第3編 2-3-8 路側防護柵工	3-5
	1-12-5 アスファルト舗 装工		第3編 2-6-7 アスファルト舗 装工	3-10
	1-12-6 コンクリート舗 装工		第3編 2-6-12 コンクリート舗 装工	3-16
	1-12-7 薄層カラー舗装 工		第3編 2-6-13 薄層カラー舗装 工	3-20
	1-12-8 側溝工		第3編 2-3-29 側溝工	3-7
	1-12-9 集水樹工		第3編 2-3-30 集水樹工	3-7
	1-12-10 縁石工		第3編 2-3-5 縁石工	3-5
	1-12-11 区画線工		第3編 2-3-9 区画線工	3-5
第13節 付帯道路施設工	1-13-3 道路付属物工		第3編 2-3-10 道路付属物工	3-5
	1-13-4 小型標識工		第3編 2-3-6 小型標識工	3-5
第2章 流路				
第3節 軽量盛土工	2-3-2 軽量盛土工		第1編 2-4-3 路体盛土工	3-3
第4節 流路護岸工	2-4-4 基礎工		第3編 2-4-3 基礎工 (護岸)	3-8
	2-4-5 コンクリート擁 壁工		第3編 2-15-1 場所打擁壁工	3-27
	2-4-6 ブロック積擁壁 工		第3編 2-5-3 コンクリートブ ロック工	3-9
	2-4-7 石積擁壁工		第3編 2-5-5 石積 (張) 工	3-10
	2-4-8 護岸付属物工		第6編 1-7-4 護岸付属物工	3-33
	2-4-9 植生工		第3編 2-14-2 植生工	3-26

【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第5節 床固め工	2-5-4 床固め本体工		第8編 1-8-4 コンクリート堰堤本体工	3-37
	2-5-5 垂直壁工		第8編 1-8-4 コンクリート堰堤本体工	3-37
	2-5-6 側壁工		第8編 1-8-6 コンクリート側壁工	3-37
	2-5-7 水叩工		第8編 1-8-8 水叩工	3-37
	2-5-8 魚道工			3-37
第6節 根固め・水制工	2-6-4 根固めブロック工		第3編 2-3-17 根固めブロック	3-7
	2-6-6 捨石工		第3編 2-3-19 捨石工	3-7
	2-6-7 かご工	じゃかご	第3編 2-3-27 羽口工	3-7
		ふとんかご	第3編 2-3-27 羽口工	3-7
かごマット		第3編 2-3-26 多自然型護岸工	3-7	
第7節 流路付属物設置工	2-7-2 階段工		第3編 2-3-22 階段工	3-7
	2-7-3 防止柵工		第3編 2-3-7 防止柵工	3-5
第3章 斜面对策				
第3節 軽量盛土工	3-3-2 軽量盛土工		第1編 2-4-3 路体盛土工	3-3
第4節 法面工	3-4-2 植生工		第3編 2-14-2 植生工	3-26
	3-4-3 吹付工		第3編 2-14-3 吹付工	3-26
	3-4-4 法枠工		第3編 2-14-4 法枠工	3-26
	3-4-5 かご工	じゃかご	第3編 2-3-27 羽口工	3-7
		ふとんかご	第3編 2-3-27 羽口工	3-7
	3-4-6 アンカー工 (プレキャストコンクリート板)		第3編 2-14-6 アンカー工	3-27
3-4-7 抑止アンカー工		第3編 2-14-6 アンカー工	3-27	
第5節 擁壁工	3-5-3 既製杭工		第3編 2-4-4 既製杭工	3-8
	3-5-4 場所打擁壁工		第3編 2-15-1 場所打擁壁工	3-27
	3-5-5 プレキャスト擁壁工		第3編 2-15-2 プレキャスト擁壁工	3-27
	3-5-6 補強土壁工		第1編 2-3-4 盛土補強工	3-2
	3-5-7 井桁ブロック工		第3編 2-15-4 井桁ブロック工	3-27
	3-5-8 落石防護工		第10編 1-11-5 落石防護柵工	3-39
第6節 山腹水路工	3-6-3 山腹集水路・排水路工		第3編 2-3-29 場所打水路工	3-7
	3-6-4 山腹明暗渠工			3-37
	3-6-5 山腹暗渠工		第3編 2-3-29 暗渠工	3-7
	3-6-6 現場打水路工		第3編 2-3-29 場所打水路工	3-7
	3-6-7 集水樹工		第3編 2-3-30 集水樹工	3-7
第7節 地下水排除工	3-7-4 集排水ボーリング工			3-37
	3-7-5 集水井工			3-37
第8節 地下水遮断工	3-8-3 場所打擁壁工		第3編 2-15-1 場所打擁壁工	3-27
	3-8-4 固結工		第3編 2-7-9 固結工	3-23
	3-8-5 矢板工		第3編 2-3-4 矢板工	3-5
第9節 抑止杭工	3-9-3 既製杭工		第3編 2-4-4 既製杭工	3-8
	3-9-4 場所打杭工		第3編 2-4-5 場所打杭工	3-8
	3-9-5 シャフト工 (深礎工)		第3編 2-4-6 深礎工	3-8
	3-9-6 合成杭工			3-37

【第9編 ダム編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 コンクリートダム				
第4節 ダムコンクリート工	1-4 コンクリートダム工 (本体)			3-38
	1-4 コンクリートダム工 (水叩)			3-38
	1-4 コンクリートダム工 (副ダム)			3-38
	1-4 コンクリートダム工 (導流壁)			3-38
第2章 フィルダム				
第3節 盛立工	2-3-5 コアの盛立			3-38
	2-3-6 フィルターの盛立			3-38
	2-3-7 ロックの盛立			3-38
	2 フィルダム (洪水吐)			3-38
第3章 基礎グラウチング				
第3節 ボーリング工	3-3 ボーリング工			3-38

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 道路改良				
第3節 工場製作工	1-3-2 遮音壁支柱製作工	遮音壁支柱製作工		3-39
		工場塗装工	第3編2-12-11工場塗装工	3-25
第4節 地盤改良工	1-4-2 表層安定処理工		第3編2-7-4 表層安定処理工	3-23
	1-4-3 パイルネット工		第3編2-7-5 パイルネット工	3-23
	1-4-4 バーチカルドレーン工		第3編2-7-7 バーチカルドレーン工	3-23
	1-4-5 締固改良工		第3編2-7-8 締固改良工	3-23
	1-4-6 固結工		第3編2-7-9 固結工	3-23
第5節 法面工	1-5-2 植生工		第3編2-14-2 植生工	3-26
	1-5-3 法面吹付工		第3編2-14-3 吹付工	3-26
	1-5-4 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	3-26
	1-5-6 アンカー工		第3編2-14-6 アンカー工	3-27
	1-5-7 かが工	じゃかご	第3編2-3-27羽口工	3-7
ふとんかご		第3編2-3-27羽口工	3-7	
第6節 軽量盛土工	1-6-2 軽量盛土工		第1編2-4-3 路体盛土工	3-3
第7節 擁壁工	1-7-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	3-8
	1-7-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	3-8
	1-7-5 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	3-27
	1-7-6 プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工	3-27
	1-7-7 補強土壁工	補強土 (テールアルメ) 壁工法	第1編2-3-4 盛土補強工	3-2
		多数アンカー式補強土工法	第1編2-3-4 盛土補強工	3-2
		ジオテキスタイルを用いた補強土工法	第1編2-3-4 盛土補強工	3-2
	1-7-8 井桁ブロック工		第3編2-15-4 井桁ブロック工	3-27
第8節 石・ブロック積 (張) 工	1-8-3 コンクリートブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	3-9
	1-8-4 石積 (張) 工		第3編2-5-5 石積 (張) 工	3-10
第9節 カルバート工	1-9-4 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	3-8
	1-9-5 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	3-8
	1-9-6 場所打函渠工			3-39
	1-9-7 プレキャストカルバート工		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	3-7

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	
第10節 排水構造物工（小型水路工）	1-10-3 側溝工		第3編2-3-29側溝工	3-7
	1-10-4 管渠工		第3編2-3-29側溝工	3-7
	1-10-5 集水柵・マンホール工		第3編2-3-30集水柵工	3-7
	1-10-6 地下排水工		第3編2-3-29暗渠工	3-7
	1-10-7 場所打水路工		第3編2-3-29場所打水路工	3-7
	1-10-8 排水工（小段排水・縦排水）		第3編2-3-29側溝工	3-7
第11節 落石雪害防止工	1-11-4 落石防止網工			3-39
	1-11-5 落石防護柵工			3-39
	1-11-6 防雪柵工			3-39
	1-11-7 雪崩予防柵工			3-39
第12節 遮音壁工	1-12-4 遮音壁基礎工			3-39
	1-12-5 遮音壁本体工			3-39
第2章 舗装				
第3節 地盤改良工	2-3-2 表層安定処理工		第3編2-7-4 表層安定処理工	3-23
	2-3-3 置換工		第3編2-7-3 置換工	3-23
第4節 舗装工	2-4-5 アスファルト舗装工		第3編2-6-7 アスファルト舗装工	3-10
	2-4-6 半たわみ性舗装工		第3編2-6-8 半たわみ性舗装工	3-12
	2-4-7 排水性舗装工		第3編2-6-9 排水性舗装工	3-14
	2-4-8 透水性舗装工		第3編2-6-10 透水性舗装工	3-15
	2-4-9 グースアスファルト舗装工		第3編2-6-11 グースアスファルト舗装工	3-16
	2-4-10 コンクリート舗装工		第3編2-6-12 コンクリート舗装工	3-16
	2-4-11 薄層カラー舗装工		第3編2-6-13 薄層カラー舗装工	3-20
	2-4-12 ブロック舗装工		第3編2-6-14 ブロック舗装工	3-21
	2-4 歩道路盤工			3-39
	2-4 取合舗装路盤工			3-39
	2-4 路肩舗装路盤工			3-39
	2-4 歩道舗装工			3-39
	2-4 取合舗装工			3-39
	2-4 路肩舗装工			3-39
2-4 表層工			3-39	
第5節 排水構造物工（路面排水工）	2-5-3 側溝工		第3編2-3-29側溝工	3-7
	2-5-4 管渠工		第3編2-3-29側溝工	3-7
	2-5-5 集水柵（街渠柵）・マンホール工		第3編2-3-30集水柵工	3-7
	2-5-6 地下排水工		第3編2-3-29暗渠工	3-7
	2-5-7 場所打水路工		第3編2-3-29場所打水路工	3-7
	2-5-8 排水工（小段排水・縦排水）		第3編2-3-29側溝工	3-7
	2-5-9 排水性舗装用路肩排水工			3-39
	第6節 縁石工	2-6-3 縁石工		第3編2-3-5 縁石工
第7節 踏掛版工	2-7-4 踏掛版工	コンクリート工		3-40
		ラバーシュー		3-40
		アンカーボルト		3-40
第8節 防護柵工	2-8-3 路側防護柵工		第3編2-3-8 路側防護柵工	3-5
	2-8-4 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	3-5
	2-8-5 ボックスビーム工		第3編2-3-8 路側防護柵工	3-5
	2-8-6 車止めポスト工		第3編2-3-7 防止柵工	3-5
第9節 標識工	2-9-3 小型標識工		第3編2-3-6 小型標識工	3-5
	2-9-4 大型標識工	標識基礎工		3-40
		標識柱工		3-40

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	
第10節 区画線工	2-10-2 区画線工		第3編2-3-9 区画線工	3-5
第12節 道路付属施設工	2-12-4 道路付属物工		第3編2-3-10 道路付属物工	3-5
	2-12-5 ケーブル配管工	ハンドホール		3-40
	2-12-6 照明工	照明柱基礎工		3-40
第13節 橋梁付属物工	2-13-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工	3-7
第3章 橋梁下部				
第3節 工場製作工	3-3-2 刃口金物製作工		第3編2-12-1 刃口金物製作工	3-24
	3-3-3 鋼製橋脚製作工			3-40
	3-3-4 アンカーフレーム製作工		第3編2-12-8 アンカーフレーム製作工	3-25
	3-3-5 工場塗装工		第3編2-12-11 工場塗装工	3-25
第5節 軽量盛土工	3-5-2 軽量盛土工		第1編2-4-3 路体盛土工	3-3
第6節 橋台工	3-6-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	3-8
	3-6-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	3-8
	3-6-5 深礎工		第3編2-4-6 深礎工	3-8
	3-6-6 オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7 オープンケーソン基礎工	3-9
	3-6-7 ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	3-9
	3-6-8 橋台躯体工			3-40
第7節 RC橋脚工	3-7-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	3-8
	3-7-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	3-8
	3-7-5 深礎工		第3編2-4-6 深礎工	3-8
	3-7-6 オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7 オープンケーソン基礎工	3-9
	3-7-7 ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	3-9
	3-7-8 鋼管矢板基礎工		第3編2-4-9 鋼管矢板基礎工	3-9
	3-7-9 橋脚躯体工	張出式		3-40
		重力式	第10編3-7-9 橋脚躯体工	3-40
		半重力式	第10編3-7-9 橋脚躯体工	3-40
	ラーメン式		3-40	
第8節 鋼製橋脚工	3-8-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	3-8
	3-8-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	3-8
	3-8-5 深礎工		第3編2-4-6 深礎工	3-8
	3-8-6 オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7 オープンケーソン基礎工	3-9
	3-8-7 ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	3-9
	3-8-8 鋼管矢板基礎工		第3編2-4-9 鋼管矢板基礎工	3-9
	3-8-9 橋脚フーチング工	I型・T型		3-41
		門型		3-41
	3-8-10 橋脚架設工	I型・T型		3-41
		門型		3-41
	3-8-11 現場継手工			3-41
3-8-12 現場塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	3-25	
第9節 護岸基礎工	3-9-3 基礎工		第3編2-4-3 基礎工（護岸）	3-8
	3-9-4 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	3-5
第10節 矢板護岸工	3-10-3 笠コンクリート工		第3編2-4-3 基礎工（護岸）	3-8
	3-10-4 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	3-5
第11節 法覆護岸工	3-11-2 コンクリートブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	3-9
	3-11-3 護岸付属物工		第6編1-7-4 護岸付属物工	3-33
	3-11-4 緑化ブロック工		第3編2-5-4 緑化ブロック工	3-9
	3-11-5 環境護岸ブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	3-9

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準		
第11節 法覆護岸工	3-11-6 石積(張)工		第3編2-5-5 石積(張)工	3-10	
	3-11-7 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	3-26	
	3-11-8 多自然型護岸工	巨石張り		第3編2-3-26 多自然型護岸工	3-7
		巨石積み		第3編2-3-26 多自然型護岸工	3-7
		かごマット		第3編2-3-26 多自然型護岸工	3-7
	3-11-9 吹付工		第3編2-14-3 吹付工	3-26	
	3-11-10 植生工		第3編2-14-2 植生工	3-26	
	3-11-11 覆土工		第1編2-3-5 法面整形工	3-3	
	3-11-12 羽口工	じゃかご		第3編2-3-27 羽口工	3-7
		ふとんかご		第3編2-3-27 羽口工	3-7
かご枠			第3編2-3-27 羽口工	3-7	
連節ブロック張り			第3編2-5-3-2 連節ブロック張り	3-9	
第12節 擁壁護岸工	3-12-3 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	3-27	
	3-12-4 プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工	3-27	
第4章 鋼橋上部					
第3節 工場製作工	4-3-3 桁製作工		第3編2-12-3 桁製作工	3-24	
	4-3-4 検査路製作工		第3編2-12-4 検査路製作工	3-25	
	4-3-5 鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5 鋼製伸縮継手製作工	3-25	
	4-3-6 落橋防止装置製作工		第3編2-12-6 落橋防止装置製作工	3-25	
	4-3-7 鋼製排水管製作工		第3編2-12-10 鋼製排水管製作工	3-25	
	4-3-8 橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7 橋梁用防護柵製作工	3-25	
	4-3-9 橋梁用高欄製作工			3-41	
	4-3-10 横断歩道橋製作工		第3編2-12-3 桁製作工	3-24	
	4-3-11 铸造費		第3編2-12-1 铸造費	3-24	
	4-3-12 アンカーフレーム製作工		第3編2-12-8 アンカーフレーム製作工	3-25	
	4-3-13 工場塗装工		第3編2-12-11 工場塗装工	3-25	
	第5節 鋼橋架設工	4-5-4 架設工(クレーン架設)		第3編2-13 架設工(クレーン架設)	3-26
4-5-5 架設工(ケーブルクレーン架設)			第3編2-13 架設工(ケーブルクレーン架設)	3-26	
4-5-6 架設工(ケーブルエレクション架設)			第3編2-13 架設工(ケーブルエレクション架設)	3-26	
4-5-7 架設工(架設桁架設)			第3編2-13 架設工(架設桁架設)	3-26	
4-5-8 架設工(送出し架設)			第3編2-13 架設工(送出し架設)	3-26	
4-5-9 架設工(トラバークレーン架設)			第3編2-13 架設工(トラバークレーン架設)	3-26	
4-5-10 支承工			第6編4-9-10 支承工	3-33	
第6節 橋梁現場塗装工	4-6-3 現場塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	3-25	
第7節 床版工	4-7-2 床版工		第3編2-18-2 床版工	3-27	
第8節 橋梁付属物工	4-8-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工	3-7	
	4-8-3 落橋防止措置工			3-41	
	4-8-5 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	3-34	
	4-8-6 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	3-34	
	4-8-7 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	3-34	
	4-8-8 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	3-34	

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	
第9節 歩道橋本体工	4-9-3 既製杭工		第3編 2-4-4 既製杭工	3-8
	4-9-4 場所打杭工		第3編 2-4-5 場所打杭工	3-8
	4-9-5 橋脚フーチング工	I型	第10編 3-8-9 橋脚フーチング工	3-41
		T型	第10編 3-8-9 橋脚フーチング工	3-41
	4-9-6 歩道橋架設工		第3編 2-13 架設工(鋼橋)	3-26
4-9-7 現場塗装工		第3編 2-3-31 現場塗装工	3-25	
第5章 コンクリート橋上部				
第3節 工場製作工	5-3-2 プレベーム用桁製作工		第3編 2-12-9 プレベーム用桁製作工	3-25
	5-3-3 橋梁用防護柵製作工		第3編 2-12-7 橋梁用防護柵製作工	3-25
	5-3-4 鋼製伸縮継手製作工		第3編 2-12-5 鋼製伸縮継手製作工	3-25
	5-3-5 検査路製作工		第3編 2-12-4 検査路製作工	3-25
	5-3-6 工場塗装工		第3編 2-12-11 工場塗装工	3-25
	5-3-7 鋳造費		第3編 2-12-1 鋳造費	3-24
第5節 PC橋工	5-5-2 プレテンション桁製作工(購入工)	けた橋	第3編 2-3-12 プレテンション桁製作工(購入工)	3-6
		スラブ橋	第3編 2-3-12 プレテンション桁製作工(購入工)	3-6
	5-5-3 ポストテンション桁製作工		第3編 2-3-13 ポストテンション桁製作工	3-6
	5-5-4 プレキャストセグメント製作工(購入工)		第3編 2-3-14 プレキャストセグメント製作工(購入工)	3-6
	5-5-5 プレキャストセグメント主桁組立工		第3編 2-3-14 プレキャストセグメント主桁組立工	3-6
	5-5-6 支承工		第6編 4-9-10 支承工	3-33
	5-5-7 架設工(クレーン架設)		第3編 2-13 架設工(クレーン架設)	3-26
	5-5-8 架設工(架設桁架設)		第3編 2-13 架設工(架設桁架設)	3-26
	5-5-9 床版・横組工		第3編 2-18-2 床版工	3-27
	5-5-10 落橋防止装置工		第10編 4-8-3 落橋防止装置工	3-41
第6節 プレベーム桁橋工	5-6-2 プレベーム桁製作工(現場)			3-41
	5-6-3 支承工		第6編 4-9-10 支承工	3-33
	5-6-4 架設工(クレーン架設)		第3編 2-13 架設工(クレーン架設)	3-26
	5-6-5 架設工(架設桁架設)		第3編 2-13 架設工(架設桁架設)	3-26
	5-6-6 床版・横組工		第3編 2-18-2 床版工	3-27
	5-6-9 落橋防止装置工		第10編 4-8-3 落橋防止装置工	3-41
第7節 PCホロースラブ橋工	5-7-2 架設支保工(固定)		第3編 2-13 架設工	3-26
	5-7-3 支承工		第6編 4-9-10 支承工	3-33
	5-7-4 PCホロースラブ製作工		第3編 2-3-15 PCホロースラブ製作工	3-6
	5-7-5 落橋防止装置工		第10編 4-8-3 落橋防止装置工	3-41
第8節 RCホロースラブ橋工	5-8-2 架設支保工(固定)		第3編 2-13 架設工	3-26
	5-8-3 支承工		第6編 4-9-10 支承工	3-33
	5-8-4 RC場所打ホロースラブ製作工		第3編 2-3-15 PCホロースラブ製作工	3-6
	5-8-5 落橋防止装置工		第10編 4-8-3 落橋防止装置工	3-41
第9節 PC版桁橋工	5-9-2 PC版桁製作工		第3編 2-3-15 PCホロースラブ製作工	3-6
第10節 PC箱桁橋工	5-10-2 架設支保工(固定)		第3編 2-13 架設工	3-26
	5-10-3 支承工		第6編 4-9-10 支承工	3-33
	5-10-4 PC箱桁製作工		第3編 2-3-16 PC箱桁製作工	3-6
	5-10-5 落橋防止装置工		第10編 4-8-3 落橋防止装置工	3-41

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	
第11節 PC片持箱桁橋工	5-11-2 PC片持箱桁製作工		第3編2-3-16 PC箱桁製作工	3-6
	5-11-3 支承工		第6編4-9-10 支承工	3-33
	5-11-4 架設工 (片持架設)		第3編2-13 架設工 (コンクリート橋)	3-26
第12節 PC押し箱桁橋工	5-12-2 PC押し箱桁製作工		第3編2-3-16 PC押し箱桁製作工	3-6
	5-12-3 架設工 (押し架設)		第3編2-13 架設工 (コンクリート橋)	3-26
第13節 橋梁付属物工	5-13-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工	3-7
	5-13-4 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	3-34
	5-13-5 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	3-34
	5-13-6 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	3-34
	5-13-7 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	3-34
第6章 トンネル (NATM)				
第4節 支保工	6-4-3 吹付工			3-41
	6-4-4 ロックボルト工			3-41
第5節 覆工	6-5-3 覆工コンクリート工			3-42
	6-5-4 側壁コンクリート工		第10編6-5-3 覆工コンクリート工	3-42
	6-5-5 床版コンクリート工			3-42
第6節 インバート工	6-6-4 インバート本体工			3-42
第7節 坑内付帯工	6-7-5 地下排水工		第3編2-3-29 暗渠工	3-7
第8節 坑門工	6-8-4 坑門本体工			3-42
	6-8-5 明り巻工			3-42
第11章 共同溝				
第3節 工場製作工	11-3-3 工場塗装工		第3編2-12-11 工場塗装工	3-25
第6節 現場打構築工	11-6-2 現場打躯体工			3-42
	11-6-4 カラー継手工			3-42
	11-6-5 防水工	防水 防水保護工 防水壁		3-42 3-42 3-42
第7節 プレキャスト構築工	11-7-2 プレキャスト躯体工			3-42
第12章 電線共同溝				
第5節 電線共同溝工	12-5-2 管路工 (管路部)			3-42
	12-5-3 プレキャストボックス工 (特殊部)			3-43
	12-5-4 現場打ちボックス工 (特殊部)			3-43
第6節 付帯設備工	12-6-2 ハンドホール工			3-43
第13章 情報ボックス工				
第3節 情報ボックス工	13-3-3 管路工 (管路部)		第10編12-5-2 管路工 (管路部)	3-42
第4節 付帯設備工	13-4-2 ハンドホール工		第10編12-6-2 ハンドホール工	3-43
第14章 道路維持				
第4節 舗装工	14-4-3 路面切削工		第3編2-6-15 路面切削工	3-23
	14-4-4 舗装打換え工		第3編2-6-16 舗装打換え工	3-23
	14-4-5 切削オーバーレイ工			3-43
	14-4-6 オーバーレイ工		第3編2-6-17 オーバーレイ工	3-23
	14-4-7 路上再生工			3-43
	14-4-8 薄層カラー舗装工		第3編2-6-13 薄層カラー舗装工	3-20
	14-4-11 グルーピング工			3-43

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	
第5節 排水構造物工	14-5-3 側溝工		第3編2-3-29側溝工	3-7
	14-5-4 管渠工		第3編2-3-29側溝工	3-7
	14-5-5 集水柵・マンホール工		第3編2-3-30集水柵工	3-7
	14-5-6 地下排水工		第3編2-3-29暗渠工	3-7
	14-5-7 場所打水路工		第3編2-3-29場所打水路工	3-7
	14-5-8 排水工		第3編2-3-29側溝工	3-7
第6節 防護柵工	14-6-3 路側防護柵工		第3編2-3-8 路側防護柵工	3-5
	14-6-4 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	3-5
	14-6-5 ボックスビーム工		第3編2-3-8 路側防護柵工	3-5
	14-6-6 車止めポスト工		第3編2-3-7 防止柵工	3-5
第7節 標識工	14-7-3 小型標識工		第3編2-3-6 小型標識工	3-5
	14-7-4 大型標識工		第10編2-9-4 大型標識工	3-40
第8節 道路付属施設工	14-8-4 道路付属物工		第3編2-3-10道路付属物工	3-5
	14-8-5 ケーブル配管工		第10編2-12-5 ケーブル配管工	3-40
	14-8-6 照明工		第10編2-12-6 照明工	3-40
第9節 軽量盛土工	14-9-2 軽量盛土工		第1編2-4-3 路体盛土工	3-3
第10節 擁壁工	14-10-3 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	3-27
	14-10-4 プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工	3-27
第11節 石・ブロック積(張)工	14-11-3 コンクリートブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	3-9
	14-11-4 石積(張)工		第3編2-5-5 石積(張)工	3-10
第12節 カルバート工	14-12-4 場所打函渠工		第10編1-9-6 場所打函渠工	3-39
	14-12-5 プレキャストカルバート工		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	3-27
第13節 法面工	14-13-2 植生工		第3編2-14-2 植生工	3-26
	14-13-3 法面吹付工		第3編2-14-3 吹付工	3-26
	14-13-4 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	3-26
	14-13-6 アンカー工		第3編2-14-6 アンカー工	3-27
	14-13-7 かご工	じゃかご ふとんかご	第3編2-3-27羽口工	3-7
第15節 橋梁付属物工	14-15-2 伸縮継手工		第3編2-3-24伸縮装置工	3-7
	14-15-4 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	3-34
	14-15-5 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5.6橋梁用防護柵工. 橋梁用高欄工	3-34
	14-15-6 橋梁用高欄工		第6編4-12-5.6橋梁用防護柵工. 橋梁用高欄工	3-34
	14-15-7 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	3-34
第17節 現場塗装工	14-17-6 コンクリート面塗装工		第3編2-3-11コンクリート面塗装工	3-5
第16章 道路修繕				
第3節 工場製作工	16-3-4 桁補強材製作工			3-43
	16-3-5 落橋防止装置製作工		第3編2-12-6 落橋防止装置製作工	3-25
第5節 舗装工	16-5-3 路面切削工		第3編2-6-15路面切削工	3-23
	16-5-4 舗装打換え工		第3編2-6-16舗装打換え工	3-23
	16-5-5 切削オーバーレイ工		第10編14-4-5 切削オーバーレイ工	3-43
	16-5-6 オーバーレイ工		第3編2-6-17オーバーレイ工	3-23
	16-5-7 路上再生工		第10編14-4-7 路上再生工	3-43
	16-5-8 薄層カラー舗装工		第3編2-6-13薄層カラー舗装工	3-20
第6節 排水構造物工	16-6-3 側溝工		第3編2-3-29側溝工	3-7
	16-6-4 管渠工		第3編2-3-29側溝工	3-7
	16-6-5 集水柵・マンホール工		第3編2-3-30集水柵工	3-7
	16-6-6 地下排水工		第3編2-3-29暗渠工	3-7
	16-6-7 場所打水路工		第3編2-3-29場所打水路工	3-7
	16-6-8 排水工		第3編2-3-29側溝工	3-7

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	
第7節 縁石工	16-7-3 縁石工		第3編2-3-5 縁石工	3-5
第8節 防護柵工	16-8-3 路側防護柵工		第3編2-3-8 路側防護柵工	3-5
	16-8-4 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	3-5
	16-8-5 ボックスビーム工		第3編2-3-8 路側防護柵工	3-5
	16-8-6 車止めポスト工		第3編2-3-7 防止柵工	3-5
第9節 標識工	16-9-3 小型標識工		第3編2-3-6 小型標識工	3-5
	16-9-4 大型標識工		第10編2-9-4 大型標識工	3-40
第10節 区画線工	16-10-2 区画線工		第3編2-3-9 区画線工	3-5
第12節 道路付属施設工	16-12-4 道路付属物工		第3編2-3-10 道路付属物工	3-5
	16-12-5 ケーブル配管工		第10編2-12-5 ケーブル配管工	3-40
	16-12-6 照明工		第10編2-12-6 照明工	3-40
第13節 軽量盛土工	16-13-2 軽量盛土工		第1編2-4-3 路体盛土工	3-3
第14節 擁壁工	16-14-3 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	3-27
	16-14-4 プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工	3-27
第15節 石・ブロック積(張)工	16-15-3 コンクリートブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	3-9
	16-15-4 石積(張)工		第3編2-5-5 石積(張)工	3-10
第16節 カルバート工	16-16-4 場所打函渠工		第10編1-9-6 場所打函渠工	3-39
	16-16-5 プレキャストカルバート工		第3編2-3-28 プレキャストカルバート工	3-7
第17節 法面工	16-17-2 植生工		第3編2-14-2 植生工	3-26
	16-17-3 法面吹付工		第3編2-14-3 吹付工	3-26
	16-17-4 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	3-26
	16-17-6 アンカー工		第3編2-14-6 アンカー工	3-27
	16-17-7 かご工	じゃかご ふとんかご	第3編2-3-27羽口工	3-7 3-7
第18節 落石雪害防止工	18-18-4 落石防止網工		第10編1-11-4 落石防止網工	3-39
	18-18-5 落石防護柵工		第10編1-11-5 落石防護柵工	3-39
	18-18-6 防雪柵工		第10編1-11-6 防雪柵工	3-39
	18-18-7 雪崩予防柵工		第10編1-11-7 雪崩予防柵工	3-39
第20節 鋼桁工	16-20-3 鋼桁補強工		第10編16-3-4 桁補強材製作工	3-39
第21節 橋梁支承工	16-21-3 鋼橋支承工		第6編4-12-4 地覆工	3-39
	16-21-4 PC橋支承工		第6編4-12-4 地覆工	3-39
第22節 橋梁付属物工	16-22-3 伸縮継手工		第3編2-3-24伸縮措置工	3-7
	16-22-4 落橋防止装置工			3-27
	16-22-6 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	3-19
	16-22-7 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	3-19
	16-22-8 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	3-34
	16-22-9 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	3-20
第25節 現場塗装工	16-25-3 橋梁塗装工		第3編2-3-31現場塗装工	3-8
	16-25-6 コンクリート面塗装工		第3編2-3-11コンクリート面塗装工	3-5

【第11編 農業農村整備編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第2章 ほ場整備工事				
第3節 整地工	2-3-1 整地工	表土扱い		3-44
		基盤造成		3-44
		表土整地		3-44
		畦畔復旧		3-44
	2-3-4 暗渠排水工	吸水渠		3-44
		集水渠（支線） 導水渠（本線）		3-44
第7節 道路工	2-7-1 1 砂利舗装工	道路工（砂利道）		3-44
第3章 農用地造成工事				
第5節 畑面工	3-5-1 畑面工	耕起深耕		3-44
		テラス（階段畑）		3-44
		土壌改良		3-44
		改良山成		3-44
第6節 道路工	3-6 道路工	耕作道		3-44
第5章 水路トンネル工事				
第5節 トンネル工	5-5-1 トンネル掘削工	支保工		3-44
		コンクリート覆工		3-44
第6章 水路工事				
第6節 開渠工	6-6-2 現場打ち開渠工	現場打開水路		3-44
	6-6-3 プレキャスト開渠工	鉄筋コンクリート大型フリューム		3-44
		鉄筋コンクリートL型水路		3-45
第7節 暗渠工	6-7-2 現場打ち暗渠工	現場打サイホン		3-45
		現場打暗渠		3-45
	6-7-3 プレキャスト暗渠工	ボックスカルバート水路		3-45
第8章 管水路工事				
第5節 管体基礎工	8-5-1 砂基礎工	砂砂利等		3-45
第6節 管体工	8-6 管水路	遠心力鉄筋コンクリート管		3-45
		ダクタイル鋳鉄管		3-45
		強化プラスチック複合管		3-45
		硬質塩化ビニル管		3-45
		鋼管		3-45
		管敷設		3-45
		V型開先（両面溶接）		3-45
		V型開先テーブ付き直管（両面溶接）		3-45
		V型開先（片面溶接）		3-45
		V型開先（片面裏当溶接）		3-45
		X型開先（両面溶接）		3-45
		X型開先テーブ付き直管（両面溶接）		3-45
周継手溶接		3-45		

【第11編 農業農村整備編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第6節 管体工	8-6 管水路	周継手溶接テープ付き直管		3-45
		すみ肉溶接		3-45
		放射線透過試験		3-45
		素地調整		3-45
		エポキシ樹脂塗装		3-45
		ジョイントコート		3-45
		たわみ率		3-45
		シールド工事 (一次覆工)		3-45
		シールド工事 (二次覆工)		3-45
第9章 畑かん施設工事				
第2節 末端工	9-2-2 散水支管設置工	スプリンクラー		3-46
第18章 ため池改修工事				
第3節 堤体工	18-3 堤体工	堤体工		3-46
第5節 洪水吐工	18-5-1 洪水吐工	洪水吐工		3-46
第6節 取水施設工	18-6 取水施設工	樋管工		3-46
		同上付帯構造物		3-46

【第12編 森林土木編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1編 共通編				
第1章 総則				
第1節 総則	1-1-18 建設副産物処分			3-47
第3編 土木工事共通編				
第2章 一般施工				
第10節 仮設工	2-10-2 仮設道路工			3-47
第15節 擁壁工 共通	2-15-3 補強土壁工	(補強土(テールアルメ)壁工法)		3-47
		(多数アンカー式補強土壁工法)		3-47
		(ジブネスタイルを用いた補強土壁工法)		3-47
第12編 森林土木編				
第1章 共通				
第1節 木材等	1-1-2 枝条整理・根株処理			3-47
第2章 林道工事				
第3節 道路土工	2-3 路盤工			3-47
	2-3 コンクリート路面工			3-47
第4節 排水施設工	2-4-2 洗越工		第3編 2-15-1 場所打擁壁工	3-27
			第3編 2-5-3 コンクリートブロック工	3-9
			第3編 2-5-5 石積(張)工	3-10
	2-4-3 呑口工及び吐口工		第3編 2-15-1 場所打擁壁工	3-27
			第3編 2-5-3 コンクリートブロック工	3-9
			第3編 2-5-5 石積(張)工	3-10
		ふとんかご、かご枠	第3編 2-3-27羽口工	3-7
	2-4-4 流木除け工及び土砂止め工	ふとんかご、かご枠	第3編 2-3-27羽口工	3-7
	2-4-5 流末工			3-48
	2-4-6 側溝工(素堀、植生工)			3-48
第5節 木製土留・擁壁工	2-5-4 木製土留・擁壁工		第12編 4-4-2 丸太積土留工	3-48
第6節 土のう積工			第12編 4-4-3 土のう積工	3-48
第7節 植生工			第3編 2-14-2 植生工	3-26
			第3編 2-14-3 吹付工	3-26

【第12編 森林土木編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3章 溪間工事				
第1節 コンクリートダム工	3-1 コンクリートダム 本体工			3-48
		コンクリート副ダム 工		3-48
		鋼製ダム工	第8編 1-9 鋼製堰堤工	3-37
第3節 木製ダム工			第12編 3-1 コンクリートダム工	3-48
第4節 緑化工			第12編 4-8 柵工	3-48
			第12編 4-9-5 筋工	3-48
第4章 山腹工事				
第3節 のり切工	4-3-2 のり切			3-48
	4-3-3 階段切付工			3-48
第4節 土留工	4-4-1 土留工		第3編 2-5 石積（張）工	3-10
			第3編 2-5-3 コンクリートブ ロック工	3-9
			第3編 2-15 擁壁工	3-27
	4-4-2 丸太積土留工			3-48
	4-4-3 土のう積土留工			3-48
第5節 埋設工	4-5-2 土留工		第3編 2-5-5 石積（張）工	3-10
			第3編 2-15-1 場所打擁壁工	3-27
	4-5-3 柵工		第12編 4-8-2 柵工	3-48
第6節 暗渠工	4-6-2 礫暗渠工		第3編 2-3-29 暗渠工	3-7
	4-6-3 鉄線籠暗渠工		第3編 2-3-27 羽口工（じゃか ご）	3-7
	4-6-4 その他二次製品 を用いた暗渠工		第12編 4-8-2 柵工	3-48
	4-6-5 ボーリング暗渠 工		第8編 3-7 地下水排除工	3-37
第7節 水路工	4-7-2 張芝水路工		第3編 2-14-2 植生工	3-26
	4-7-3 練張及び空張水 路工		第3編 2-5-5 石積（張）工	3-10
	4-7-4 鋼製及びコンクリート 二次製品水路工		第12編 4-8-2 柵工	3-48
	4-7-5 丸太柵及び網柵 水路工		第12編 4-8-2 柵工	3-48
	4-7-6 土のう等緑化二 次製品水路工		第3編 2-14-2 植生工	3-26
第8節 柵工	4-8-2 柵工			3-48
	4-8-3 木柵及び丸太柵 工		第12編 4-8-2 柵工	3-48
	4-8-4 コンクリート板 柵工		第12編 4-8-2 柵工	3-48
	4-8-5 鋼製及び合成樹 脂二次製品の柵工		第12編 4-8-2 柵工	3-48
第9節 筋工	4-9-2 石筋工		第12編 4-8-2 柵工	3-48
	4-9-3 萱筋工		第12編 4-8-2 柵工	3-48
	4-9-4 丸太筋工		第12編 4-8-2 柵工	3-48
	4-9-5 その他二次製品 を用いた筋工			3-48

【第12編 森林土木編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第11節 吹付工			第3編2-14-3吹付工	3-26
第12節 法枠工			第3編2-14-4法枠工	3-26
第13節 植栽工			第12編第5章森林整備工事	3-49
第14節 落石防止工	4-14-2鋼製落石防止壁工			3-48
	4-14-3固定工（ロープ伏工）			3-48
第15節 地すべり防止工			第3編2-14法面工	3-26
			第8編3 斜面対策	3-37
第5章 森林整備工事				
第2節 植栽工	5-2-4地拵え工			3-49
	5-2-5植付け工			3-49
	5-2-6施肥工			3-49
	5-2-7支保（支柱工）工			3-49
	5-2-8補植工		第12編5-2-8植付け工	3-50
	5-2-9追肥工			3-50
第3節 風倒木整理工				
第4節 保育	5-4-1下刈り工			3-50
	5-4-2つる切り工			3-50
	5-4-3本数調整伐工、受光伐工、除伐工			3-50
	5-4-4枝落とし工			3-51
	5-4-5追肥工			3-50
	5-4-6雪起こし工（倒木起こし）			3-51
	5-4-8除草剤散布工		第12編5-2-5-1植付け工（施肥）	3-49
第5節 簡易治山施設工			第12編4章 山腹工事	3-48
第6節 作業歩道整備工	5-6-1作業歩道作設工			3-51
	5-6-2作業歩道補修工		第12編5-6-1作業歩道作設工	3-51
第6章 海岸防災林造成（森林造成）工				
第2節 森林造成工	6-2-1盛土工		第1編2-3-3盛土工	3-2
			第3編2-14-2植生工	3-26
	6-2-2覆砂工（伏工、砂草植栽）		第3編2-14-2植生工	3-26
	6-2-3実播工		第3編2-14-2植生工	3-26
	6-2-4防風工			3-51
	6-2-5排水工		第3編2-3-29側溝工	3-7
	6-2-6静砂工（静砂垣）		第12編6-2-4防風工	3-51
6-2-7植栽工		第12編5-2-5植付け工	3-49	
第7章 保安林管理道工事				
第1節 適用	7-1-1開設工		第12編2 林道工事	3-47
	7-1-1舗装工		第3編2-6アスファルト舗装工	3-11

【第13編 漁港漁場編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3章 共通仮設				
第2節 汚濁防止膜工				3-52
第5章 一般施工				
第3節 共通の工種	5-3-2 共通事項	ポンプ浚渫		3-52
		グラブ浚渫		3-52
		硬土盤浚渫		3-52
		砕岩浚渫		3-52
		バックホウ浚渫		3-52
	5-3-6 圧密・排水工	サンドドレーン		3-52
		敷砂		3-52
		敷砂均し		3-52
		載荷土砂		3-52
		ペーパードレン		3-52
	5-3-7 締固工	サンドコンパクションパイル		3-52
		敷砂	第13編 5-3-6 圧密・排水工	3-52
		敷砂均し	第13編 5-3-6 圧密・排水工	3-52
	5-3-8 固化工	深層混合処理杭		3-52
		敷砂	第13編 5-3-6 圧密・排水工	3-52
		敷砂均し	第13編 3-3-6 圧密・排水工	3-52
	5-3-9 洗掘防止工			3-53
	5-3-10 中詰工			3-53
	5-3-11 蓋コンクリート工			3-53
	5-3-13 鋼矢板工			3-53
	5-3-14 控工	腹起		3-53
		タイ材		3-53
	5-3-15 鋼杭工			3-53
5-3-16 コンクリート杭			3-54	
5-3-17 防食工		第13編 5-17-5 防食工	3-56	
第5節 海上地盤改良工	5-5-2 床堀工			3-52
		ポンプ浚渫	第13編 5-3-2 共通事項	3-52
		グラブ浚渫	第13編 5-3-2 共通事項	3-52
		硬土盤浚渫	第13編 5-3-2 共通事項	3-52
		砕岩浚渫	第13編 5-3-2 共通事項	3-52
		バックホウ浚渫	第13編 5-3-2 共通事項	3-52
	5-5-6 置換工			3-52
	5-5-7 圧密・排水工		第13編 5-3-6 圧密・排水工	3-52
	5-5-8 締固工		第13編 5-3-7 締固工	3-52
5-5-9 固化工		第13編 5-3-8 固化工	3-52	
第6節 基礎工	5-6-3 洗掘防止工		第13編 5-3-9 洗掘防止工	3-53
	5-6-4 基礎捨石工			3-54
	5-6-6 基礎ブロック工	基礎ブロック製作	第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36
基礎ブロック据付		第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36	
第7節 本体工(ケーソン式)	5-7-2 ケーソン製作工			3-54
	5-7-3 ケーソン進水据付工			3-54
	5-7-4 中詰工		第13編 5-3-10 中詰工	3-53
	5-7-5 蓋コンクリート工		第13編 5-3-11 蓋コンクリート工	3-53

【第13編 漁港漁場編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第8節 本體工(ブロック式)	5-8-2 本體ブロック製作工			3-55
	5-8-3 本體ブロック据付工			3-55
	5-8-4 中詰工		第13編 5-3-10 中詰工	3-53
	5-8-5 蓋コンクリート工		第13編 5-3-11 蓋コンクリート工	3-53
第10節 本體工(捨石・捨ブロック式)	5-10-2 洗掘防止工		第13編 5-3-9 洗掘防止工	3-53
	5-10-3 本體捨石工		第13編 5-6-4 基礎捨石工	3-54
	5-10-4 捨ブロック工	捨ブロック製作	第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36
捨ブロック据付		第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36	
第11節 本體工(鋼矢板式)	5-11-2 鋼矢板工		第13編 5-3-13 鋼矢板工	3-53
	5-11-3 控工		第13編 5-3-14 控工	3-53
第12節 本體工(コンクリート矢板式)	5-12-2 コンクリート矢板工			3-53
	5-12-3 控工		第13編 5-3-14 控工	3-53
第13節 本體工(鋼杭式)	5-13-2 鋼杭工		第13編 5-3-15 鋼杭工	3-54
第14節 本體工(コンクリート杭式)	5-14-2 コンクリート杭工		第13編 5-3-16 コンクリート杭工	3-53
第15節 被覆・根固工	5-15-2 被覆石工			3-54
	5-15-4 被覆ブロック工	被覆ブロック製作	第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36
		被覆ブロック据付	第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36
	5-15-5 根固ブロック工	根固ブロック製作	第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36
根固ブロック据付		第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36	
第16節 上部工	5-16-2 上部コンクリート工			3-56
	5-16-3 上部ブロック工	上部ブロック製作	第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36
		上部ブロック据付	第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36
第17節 付属工	5-17-2 係船柱工			3-56
	5-17-3 防舷材工			3-56
	5-17-4 車止・縁金物工			3-56
	5-17-5 防食工		第13編 5-3-17 防食工	3-56
第18節 消波工	5-18-2 洗掘防止工		第13編 5-3-9 洗掘防止工	3-53
	5-18-3 消波ブロック工	消波ブロック製作	第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36
		消波ブロック据付	第7編 2-7-3 消波ブロック工	3-36
第19節 裏込・裏埋工	5-19-2 裏込工			3-56
	5-19-4 裏埋工			3-56
第20節 維持補修工	5-20-3 防食工		第13編 5-17-5 防食工	3-56
第21節 仮設工	5-21-2 仮設鋼矢板工		第13編 5-3-13 鋼矢板工 5-3-15 鋼杭工	3-53
	5-21-3 仮設鋼管杭・鋼管矢板工		第13編 5-3-13 鋼矢板工 5-3-15 鋼杭工	3-53
第24節 魚礁工	5-24-2 単体魚礁製作工			3-57
	5-24-4 魚礁沈設工			3-57
	5-24-3 組立魚礁組立工	コンクリート部材組立		3-57
		鋼製部材組立		3-57
		科学系 (FRP等) 部材組立		3-58
現場鋼材溶接			3-58	

【第13編 漁港漁場編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第24節 魚礁工	5-24-3 組立魚礁組立工	被覆溶接（水中） スタッド溶接（水中）		3-58
		現場鋼材切断 （陸上現場切断）		3-58
		現場鋼材切断		3-58
第25節 増殖場工	5-25-2 着定基質製作工			3-58
	5-25-3 着定基質組立工		5-25-3 組立魚礁組立工	3-58
	5-25-4 着定基質設置工			3-58
	5-25-5 石材投入工			3-58

【 その他 】

章	節	条	枝番	頁	
その他	舗装関係	橋面防水工		3-59	
	ダム関係	仮排水路		3-59	
		仮締切（土石）		3-59	
		仮締切（コンクリート）		3-59	
		基礎掘削		3-59	
		堤体コンクリート打設		3-59	
		堤体止水		3-59	
		堤体排水工		3-59	
		堤体冷却工		3-59	
		堤体埋設計器		3-59	
	トンネル工関係	トンネル坑門工		3-59	
		トンネル（矢板工法）		3-59	
				3-60	
		シールド		3-60	
	維持修繕工関係	アスファルト舗装工		3-60	
		コンクリート舗装工		3-60	
		路肩、路側路盤工		3-60	
		道路除草		3-60	
		路肩整形		3-60	
		新設、更新	修理防護柵類		3-60
			修理標識類		3-60
			修理照明灯		3-60
		視線誘導標		3-60	
		清掃（路面、標識、側溝、集水柵）		3-60	
		区間線路面標示		3-60	
		街路樹植樹		3-61	
		街路樹補強補植		3-61	
		街路樹剪定		3-61	
		街路樹消毒、施肥		3-61	
		街路樹雪囲		3-61	
		排雪除雪		3-61	
		凍結防止剤散布		3-61	
		河川除草		3-61	
		応急処置		3-61	
		鉄筋、無筋コンクリート	配筋		3-61
			打設		3-61
			養生		3-61

【 品質管理 】

番号	工種	頁
1	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工)	3-62
	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工後試験)	3-62
5	ガス圧接	3-62
7	既製杭工	3-62
11	下層路盤	3-62
12	上層路盤	3-62
13	アスファルト安定処理路盤	3-63
14	セメント安定処理路盤(施工)	3-63
15	アスファルト舗装(プラント)	3-63
	アスファルト舗装(舗設現場)	3-63
16	転圧コンクリート(施工)	3-63
17	グースアスファルト舗装(プラント)	3-63
	グースアスファルト舗装(舗設現場)	3-63
18	路床安定処理工	3-63
19	表層安定処理工(表層混合処理)	3-64
20	固結工	3-64
21	アンカー工	3-64
22	補強土壁工	3-64
23	吹付工(施工)	3-64
24	現場吹付法砕工	3-64
25,26	河川・海岸土工(施工)	3-64
27	砂防土工	3-64
28	道路土工(施工)	3-65
29	捨石工	3-65
30	コンクリートダム(材料)	3-65
	コンクリートダム(施工)	3-66
31	覆工コンクリート(NATM)	3-66
32	吹付けコンクリート(NATM)	3-66
33	ロックボルト(NATM)	3-66
34	路上再生路盤工(材料)	3-66
	路上再生路盤工(施工)	3-66
35	路上表層再生工(材料)	3-67
	路上表層再生工(施工)	3-67

【 品質管理 】

番号	工種		頁
36	排水性舗装工・透水性舗装工(プラント)		3-67
	排水性舗装工・透水性舗装工(舗設現場)		3-67
37	プラント再生舗装工(プラント)		3-67
	プラント再生舗装工(舗設現場)		3-67
38	ガス切断工		3-67
39	溶接工		3-67
40	工場製作工		3-68
44	中層混合処理		3-68

撮影箇所一覧表（全体）

区分	工種	写真管理項目		摘要	
		撮影項目	撮影・提出頻度〔時期〕		
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回 〔着手前〕		
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回 〔完成後〕		
施工状況写真	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回 〔月末〕		
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書に従い施工していることが確認できるように適宜 〔施工中〕	高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所に1回 〔施工前後〕		
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)における空中写真測量(UAV)」による場合は、撮影毎に1回（写真測量に使用したすべての画像量(ICONフォルダに格納）） 〔発生時〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)における地上型レーザースキャナー(TLS)、地上移動体搭載型レーザースキャナー(地上移動体搭載型LS)、無人航空機搭載型レーザースキャナー(UAVレーザ一)、TS(ノンプリズム方式)、TS等光波方式、RTK-GNSS」による場合は、計測毎に1回 〔発生時〕	指示・承諾・協議書に添付する。	
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕		
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕		
		監視員交通整理状況	各1回 〔作業中〕		
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回 〔実施中〕	実施状況資料に添付する。	
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に1回 〔使用前〕	品質証明に添付する。	
		品質証明 (JISマーク表示)	各品目毎に1回		
		検査実施状況	各品目毎に1回 〔検査時〕		
品質管理写真		別添 品質管理写真撮影箇所一覧表に記載 不可視部分の施工	適宜		
出来形管理写真		別添 出来形管理写真撮影箇所一覧表に記載 不可視部分の施工	適宜		
		出来形管理基準が定められていない	監督員と協議事項		
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕		
事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	着手前は付近の写真でも可	
補償関係外	補償関係	被害又は損害状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕		
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回 〔設置後〕		

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
1 共通 編	2 土 工	3 河 川 土 工 ・ 海 岸 土 工 ・ 砂 防 土 工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	<ul style="list-style-type: none"> ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 多点計測技術(面管理の場合)における空中写真測量(UAV)および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。	
			3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	<ul style="list-style-type: none"> ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕	
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 〔施工後〕	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) における空中写真測量(UAV)および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。	
4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕				

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
1 共通 編	2 土 工	3 河 川 土 工 ・ 海 岸 土 工 ・ 砂 防 土 工	5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔仕上げ時〕		
			6		堤防天端工	厚さ 幅	200mに1回 〔施工後〕		
		4 道 路 土 工	2			掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	<ul style="list-style-type: none"> ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
							法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕	
								「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合 は1工事に1回 〔掘削後〕	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」多点計測技術(面管理の場合)における空中写真測量(UAV)および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		
	3 4				路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕		
								「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 〔締固め時〕		

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
1 共通編	2 土工	4 道路 路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	法長 幅 ※右のいずれか で撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕	<ul style="list-style-type: none"> ・出来映えの撮影 ・TS等の設置 状況と出来形計測対象点上の プリズムの設置 状況(プリズムが 必要な場合のみ) がわかるように 撮影 	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 〔施工後〕		
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 多点計測技術(面管理の場合)における空中写真測量(UAV)および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		
		5	法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔仕上げ時〕				
	3 無筋、 鉄筋 コンクリート	7 鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)		
						かぶり	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)		
2						組立て ※新設のコンクリート構造物の内、 橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験 (電磁誘導法、 電磁波レーダ法)		試験毎に1回 〔試験実施中〕

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要				
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]					
3	2	3	4		矢板工 〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40m又は1施工箇所1回 〔打込前後〕					
						変位	40m又は1施工箇所1回 〔打込後〕					
						数量	全数量 〔打込後〕					
							5		縁石工 (縁石・アスカーブ)	施工状況	1種別毎に1回 〔施工中〕	
							6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所1回 〔施工後〕	
							7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある 場合) 〔施工後〕	
					パイプ取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕						
							8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある 場合) 〔施工後〕	
						ビーム取付高				1施工箇所に1回 〔施工後〕		
							8	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある 場合) 〔施工後〕	
						ケーブル取付高				1施工箇所に1回 〔施工後〕		
		9		区画線工	材料使用量	全数量 〔施工前後〕						
					施工状況	施工日に1回 〔施工前後〕						
		10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕						
		11		コンクリート面塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕						
					素地調整状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕						
					塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕						

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要		
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]			
3	土木工事共通編	2	3	共通の工種	12	1 プレテンション桁製作工 (購入工) (けた橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 〔製作後〕		
						2 プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 〔製作後〕		
					13	ポストテンション桁製作工	シース、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕		
							幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外後〕		
							中詰め及びグラ ウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
					14	1 プレキャストセグメント製作工 (購入工)	断面の外形寸法	1スパンに1回 〔製作後〕		
						2 プレキャストセグメント主桁組立 工	組立状況	1スパンに1回 〔組立時〕		
					15	PCホロースラブ製作工	シース、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕		
							幅 厚さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
							中詰め及びグラ ウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
					16	1	PC箱桁製作工	シース、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	
								幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
								内空幅 円空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕	
								中詰め及びグラ ウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕	
					16	2	PC箱桁製作工 (押し箱桁)	シース、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	
								幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
内空幅 円空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕									
中詰め及びグラ ウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕									

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要		
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]			
3	2	3			根固めブロック工	数量	全数量〔製作後〕			
						ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕			
					18	沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
					19	捨石工	幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
					22	階段工	幅 高さ 長さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
					24	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	設置状況	1スパンに1回 〔設置後〕	
						2	伸縮装置工 (鋼製フィンガー ジョイント)	設置状況	1スパンに1回 〔設置後〕	
					26	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	胴込裏込厚	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	
								法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
					2	多自然型護岸工 (かごマット)	高さ 法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
					27	1	羽口工 (じゃかご)	法長 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
						2	羽口工 (ふとんかご、かご枠)	高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
					28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	据付状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	
								※幅 ※高さ	200m又は1施工箇所 に1回 (※印は場所打ちのある場 合)〔埋戻し前〕	
					29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕	
						2	場所打水路工	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	
3	暗渠工	幅 深さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕							
30		集水柵工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕						

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要			
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]				
3	2	3	31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕				
						ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕				
						塗装状況	各層毎1スパンに1回 〔塗装後〕				
		4	基礎工	1	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 厚さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
				3	1	2	基礎工護岸(現場打)	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕		
								基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況		200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕
				4				既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕	
									根入長	1施工箇所に1回 〔打込前〕	
									数量	全数量 〔打込後〕	
									杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕	
				5				場所打杭工	根入長	1施工箇所に1回 〔施工中〕	
									偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕	
									数量、杭径	全数量 杭頭余盛部の撤去 前、杭頭処理後	
									杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕	
									鉄筋組立状況	1施工箇所に1回 〔組立後〕	
				6				深礎工	根入長	全数量 〔掘削後〕	
									偏心量 数量、基礎径	全数量 〔施工後〕	
									ライナープレート 設置状況	1施工箇所に1回 〔掘削後〕	
									土質	土質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	
									鉄筋組立状況	全数量 〔組立後〕	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
3	土 木 工 事 共 通 編	4	7		オープンケーソン基礎工	杓	1基毎に1回 〔据付後〕		
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロット毎に1回 〔設置後及び型枠取外し後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕		
					8	ニューマチックケーソン基礎工	杓		1基毎に1回 〔据付後〕
							ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況		1ロット毎に1回 〔設置後及び型枠取外し後〕
							載荷状況		1基に1回〔載荷時〕
							封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況		1基に1回〔施工時〕
							9		鋼管矢板基礎工
		根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基毎に1回 〔設置後〕						
		載荷状況	1基に1回〔載荷時〕						
		封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕						
		5	石・ブ ロ ッ ク 積 (張)工	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック張り)			
							法長 厚さ (ブロック積張)		200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕
				2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	法長	200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回		
幅	200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕								
4	緑化ブロック工			厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所 に1回〔施工中〕				
				法長 厚さ(ブロック)	200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回				

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要			
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブロッ ク積 (張)工	5		石積(張)工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕				
						法長 厚さ(石積・張)	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回				
	6 一般 舗装 工	7	1		1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕			
							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
							厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に より「厚さあるいは標高較差」 を管理する場合は各層毎1工 事に1回 〔整正後〕			
							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕			
			2	2	2	1	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に より「厚さあるいは標高較差」 を管理する場合は各層毎1工 事に1回 〔整正後〕	
									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
3	2	6	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に より「厚さあるいは標高較差」 を管理する場合は各層毎1工 事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕	
				4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕	
				5	アスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
						タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕	
				6	アスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
						タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
平坦性	1工事1回〔実施中〕							

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
			8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に より「厚さあるいは標高較差」 を管理する場合は各層毎1工 事に1回 〔整正後〕	
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
				4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕	
				5	半たわみ性舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、プ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
				6	半たわみ性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、プ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						浸透性ミルク注入 状況	400mに1回 〔注入時〕	
平坦性	1工事1回 〔実施中〕							

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
3	土木 工事 共通 編	2	6	9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
							厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
					2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
							厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
					3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
							厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要		
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]			
3	土木工事共通編	2	6	9	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
						排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		
							幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
					排水性舗装工 (基層工)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕			
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
					排水性舗装工 (表層工)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕			
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕			
					10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
								修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
								厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
								幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要		
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]			
3	土木工事共通編	2	6	10	2	透水性舗装工 表層工	修正状況	400mに1回 〔修正後〕		
							タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
							平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
				11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		
							修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
							幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
		2	グースアスファルト舗装工 (基層工)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕					
				タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕					
				3	グースアスファルト舗装工 (表層工)		修正状況	400mに1回 〔修正後〕		
		タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕							
		平坦性	1工事1回 〔実施中〕							
		12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕				
					修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕				
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕				
					幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕				
					2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)		敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
								修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要		
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]			
3	土木工事共通編	2	6	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
							幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
					3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		
							修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
							厚さ	1,000㎡に1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
							幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
					4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕		
							タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
							幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
					5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	石粉 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
							スリッパー タイバー寸法 位置	80mに1回 〔据付後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
3	2	6	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	鉄網寸法 位置	80mに1回 〔据付後〕	
						平坦性	1工事1回〔実施中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						目地段差	1工事に1回	
				6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
				7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
3	2	6	12	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
						タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
				11	コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート舗装工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕							
横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所1回 〔据付後〕							

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要							
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]								
3	2	6	12	11		縦そり突合せ目地部、縦そりダミー目地部 タイバー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕								
						平坦性	1工事に1回(実施中)								
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕								
						目地段差	1工事に1回								
				13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	1		敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕					
									整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕					
									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕					
									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕					
									2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工		2	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
													整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
													厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕	
													幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	3	1					敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕						
				整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕										

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要			
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]				
3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚さ	1,000㎡に1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要				
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔修正後〕				
						4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)		敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
				幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔修正後〕						
				5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔修正後〕				
				幅	各層毎に1回 〔散布時〕						
				厚さ	1,000㎡に1回 〔修正後〕						
				14	1	1	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
									整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕	
									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔修正後〕	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
3	2	6	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				5	ブロック舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕							

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
3	土 木 工 事 共 通 編	2	6	一般 舗 装 工	15	路面切削工	幅 厚さ(基準高)	1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 〔修正後〕	
					16	舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
					17	オー バー レイ 工	平坦性	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
		タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕						
		修正状況	400mに1回 〔施工後〕						
		7	地 盤 改 良 工	2	2	路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回〔施工後〕	
					3	置換工	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
					5	パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
					6	サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
					7 8	バー チ カ ル ド レ ーン 工 (サ ン ド ド レ ーン 工) (ペ ー パ ー ド レ ーン 工) (袋 詰 式 サ ン ド ド レ ーン 工) 締 固 め 改 良 工 (サ ン ド コ ン パ ク シ ョ ン パ イル 工)	打込長さ 施工状況	200㎡又は1施工箇所に1回 〔打込み前後、施工中〕	
							杭径 位置・間隔	200㎡又は1施工箇所に1回 〔打込後〕	
							砂の投入量	全数量〔打込前後〕	
		9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所に1回 〔打込後〕			
		深度	1施工箇所に1回 〔打込前後〕						
					ただし、(スラリー攪拌工)において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。				

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
3 土 木 工	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ	1,000m ³ ～4,000m ³ につき 1回、又は施工延長40m(測点 間隔25mの場合は50m)につき 1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕	ただし、「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案)」に より出来形管理資料を提出す る場合は、出来形管理に関わ る写真管理項目を省略でき る。	
						幅			
		10 仮 設 工	5	1	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1施工箇所に1回 〔打込前〕	
							数量		
				2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ	1施工箇所に1回 〔削孔後〕		
						配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
				3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回		
			4	土留・仮締切工 (締切盛土)	天端幅 法長	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕			
			5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	施工状況	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕			
			9	地中連続壁工 (壁式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕			
			10	地中連続壁工 (柱列式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕			
			22	法面吹付工		第3編2-14-3吹付工に準 ずる			
		12 工 場 製 作 工	1	1	1	鑄造費 (金属支承工)	製作状況	適宜 〔製作中〕	
							製作状況	適宜 〔製作中〕	
				2	鑄造費 (大型ゴム支承工)	製作状況	適宜 〔製作中〕		
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
			3	1	桁製作工(仮組立による検査を 実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を 行う場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	※シミュレーショ ン仮組立検査 の場合は仮組 立寸法を省略	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
		4	刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1施工箇所に1回 〔仮組立時〕				
					仮組立寸法 (撮影項目は適 宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕			

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
3	2	12			桁製作工 (仮組立検査を実施しない場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕		
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
					3	桁製作工 (鋼製堰堤製作工(仮組立時))	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1基に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	
					4	検査路製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	
							製作状況	適宜 〔製作中〕	
					5	鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	
							製作状況	適宜 〔製作中〕	
							仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	
					6	落橋防止装置製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	
							製作状況	適宜 〔製作中〕	
					7	橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	
製作状況	適宜 〔製作中〕								
8	アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕						
9	プレブーム用桁製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕						
		製作状況	適宜 〔製作中〕						
		仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕						
10	鋼製排水管製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕						
		製作状況	適宜 〔製作中〕						
11	工場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕						
		素地調整状況 (塗替)	部材別 〔施工前後〕						
		塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕						

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
3	土木工事共通編	2	13	11	架設工(鋼橋) (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 [架設中]		
		14	法面工	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工、植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1工事に1回 [混合前]	
							土羽土の厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 [施工中]	
							法長	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	
				2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200m又は1施工箇所 に1回 [清掃後]	
							ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m又は1施工箇所 に1回 [吹付前]	
							厚さ(検測孔)	200㎡又は1施工箇所 に1回 [吹付後]	
							法長	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	
							材料使用量	1工事に1回 [混合前]	
				3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200m又は1施工箇所 に1回 [清掃後]	
							ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m又は1施工箇所 に1回 [吹付前]	
							法長	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	
							厚さ(検測孔)	200㎡又は1施工箇所 に1回 [吹付後]	
4		1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長 幅 高さ 枠中心間隔	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。				
				2	法枠工(プレキャスト法枠工)	法長	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
3	土木工事共通編	2	14	6	アンカー工	削孔深さ	1施工箇所につき1回 〔削孔後〕	
						配置誤差	1施工箇所につき1回 〔施工後〕	
		15	1	1	場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所につき1回 〔施工中〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 〔施工中〕	
						厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所につき1回 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 〔型枠取外し後〕	
				2	プレキャスト擁壁工	据付状況	200m又は1施工箇所につき1回 〔埋戻し前〕	
				3	盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	高さ 鉛直度	120m又は1施工箇所につき1回 〔施工後〕	
		16	1	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ浚渫船) (バックホウ浚渫船)	運転状況	1施工箇所につき1回 〔施工後〕	
						18	2	床版工

【第4編 港湾編】

編	章	節	条	枝番	工 種	撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮影頻度(撮影要領)／撮影頻度	適用
4 港 湾 編	3 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	2 共 通 事 項		浚渫 (使用船舶機械等)	作業現場	現地搬入前 又は現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影	
					ポンプ浚渫	浚渫位置測量状況	測量時	法線又は区域標識を入れる	
						排砂管設置・撤去	作業時	設置状況か判明できるように撮影	
						零号、中継船設置、撤去	作業時	適宜	
						浚渫状況	作業時、作業船毎	浚渫位置が判明できる背景を入れる	
						排砂状況	排砂時	適宜	
						海洋汚染防止対策	対策を講じた時	適宜	
					グラブ等浚渫	浚渫位置測量状況	測量時	法線又は区域標識を入れる	
						浚渫状況	作業時、作業船毎	船団の配置及び浚渫位置を判明できる背景を入れること	
						土質状況	浚渫作業時	位置、深度又は層を明記する	
						浚渫土砂の運搬状況	運搬時積載状況	適宜	
						浚渫土砂の土捨状況	土捨時指定区域内	土捨位置が判明できる背景を入れること	
						海洋汚染防止対策		土捨区域を示す浮標灯などを入れる	
					障害物撤去	障害物積込状況	積込時	運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影など障害物の状況に応じ撮影	
						運搬船に積込まれた状態	積込完了時(運搬毎適宜)	適宜	
				障害物捨込状況		捨込時	全景が判明できるように撮影		
				6 圧 密 ・ 排 水 工	使用船舶機械等	運搬船舶機械	投入時	適宜	
						均し船舶機械	均し作業時	均し用具は、作業前に撮影	
					その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時	適宜	
						飛砂防止対策	対策を講じた時	適宜	
					砕石ドレーン	(使用施工機械) クローラクレーン アースオーガマシン リーダーオーガ 発動発電機 コンプレッサ トラクターショベル	現場搬入時 組立時、機械毎		
						施工状況	施工時	適宜	
					サンドドレーン ペーパードレーン サンドコンパクション ショバイル	(使用施工機械) 杭打船舶機械	打設時	組立完了後船舶機械等	
						記録計器	打設時		
						測量檣等	測量中	檣等毎	
						砂運搬船舶機械	運搬中	使用船舶毎(全景)	
					載荷(土砂)	(使用施工機械) 砂運搬船、機械	運搬時	船舶機械毎	
						排砂管設備	敷設時 排砂中	適宜	
						浚渫船(採取船)	浚渫中	適宜	
						海洋汚染防止対策	対策を講じた時	適宜	
					ロッドコンパクション	(使用施工機械) 振動体(バイプロ)	現場搬入時 組立時	使用機械毎全景	
				ロッド、リーダー、トラクターショベル、発動発電機、ショベルローダー		現場搬入時 組立時	使用機械毎全景		
				施工状況		施工時	全景		
				8 固 化 工	深層混合処理	(使用施工機械) 改良船、材料運搬船、潜水土船、引船、揚錨船	搬入時	使用船舶毎	
						施工状況	測量檣設置時	適宜	
						測量檣設置、撤去状況	改良船位誘導時		
						障害物撤去状況	調査、撤去時	適宜	
						改良杭打設状況	試験杭打時 作業時	適宜	
						海洋汚染防止対策	対策を講じた時	適宜	
					改良船計器類 代表的計器	計測時	適宜		

【第4編 港湾編】

編	章	節	条	枝番	工 種	撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮影頻度(撮影要領)／撮影頻度	適用
4 港 湾 編	3 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8 固 化 工		マット類の確認	補強材セット状況	作業中、完了時	作業状況が判明できるように撮影	
						アスファルト、コンクリート打設状況	打設時	適宜	
						搬入仮置	搬入仮置時	適宜	
						アンカー取付け、加工	取付加工時	適宜	
						運搬	運搬時	適宜	
				敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時	適宜		
				10 中 詰 工	使用船舶機械等	運搬船等	施工時	作業状況が判明できるように撮影	
					投入	投入状況	施工時		
					均し	均し状況	施工時		
					締固め	締固め状況	施工時		
			11 蓋 コ ン ク リ ー ト	使用船舶機械等	コンクリートミキサー船及び付属船	コンクリート打設前	コンクリートミキサー船及び付属船の形状が判るように前方、側面からそれぞれ撮影		
				ルーフィング敷設	中詰上面	コンクリート打設前			
				コンクリート積込運搬状況	陸上及び海上	コンクリート打設前	作業状況が判明できるように撮影		
				コンクリート打設	打設状況	打設時	プレキャストコンクリートを使用する場合は、コンクリートブロックの撮影基準を適用する。		
				天端仕上げ	仕上げ状況	仕上げ時			
				養生	作業状況	養生時			
			14 控 工	控工 腹起しの取付	取付け及び締付状況 腹起し継手部の施工状況	施工中及び完了時	適宜		
				タイロッド受杭	(9-5-2)杭及び矢板を適用する。				
				タイロッド、 タイフイヤーの組 立て、取付け プレキャストコン クリート控壁、控 杭、控矢板 控頂部コンクリ ート 場所打コンクリ ート 控壁	組立て及び取付状況	施工時	(3-13,15,16)矢板及び杭を適用する。 (3-8)コンクリートブロックを適用する。 (3-16)上部コンクリートを適用する。		
				杭の保管	保管状況	保管時	全景及びまくら木、くさび等の変形、転落防止措置を撮影		
				杭の積込み	吊上げ及び積込状況	作業時	使用機械器具、積込方法が判明できるように撮影		
				杭の運搬	運搬状況	作業時	荷くずれ防止措置、台船への積載状況、使用船舶機械等が判明できるように撮影		
				導材の設置	導材の設置状況	作業時	使用材料及び船舶機械、導材の構造が判明できるように撮影		
				杭の建込み	建込状況 (位置出し、吊込み、建込み等)	作業時	作業状況等が判明できるように撮影		
				杭の打込み	打込状況	作業時	杭打船等の全景、打込み方法、順序等が判明できるように撮影		
					ハンマーの種類、型式等	適宜			
					打込書己録中	測定時			
					飛油、騒音防止対策	対策を講じた時	適宜飛油対策、騒音防止対策等を行った場合		
				16 コ ン ク リ ー ト 杭	コンクリート杭 鋼矢板 及び鋼管矢板 コンクリート矢板	(3-3-15)鋼杭工を適用する。			

【第4編 港湾編】

編	章	節	条	枝番	工 種	撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮影頻度(撮影要領)／撮影頻度	適用	
4 港 湾 編	3 一 般 施 工	6 基 礎 工	4 基 礎 捨 石 工		準備、仮設	ストックヤード、 仮設道路等	使用前後	適宜		
					陸上運搬	ストック、積込み、 運搬状況	運搬時	作業機械、作業状況等が判明できるように撮影		
					捨石投入	投入状況	投入時	捨石規格毎及び作業船種毎		
					捨石均し	均し状況	作業中	規格及び作業船毎		
			7 本 体 工 (ケー ソン 式)	2 ケー ソン 製 作 工		ケーソン製作 ヤード等	ヤード及び設備	着工時	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影	
					使用船舶機械等	引船、起重機船、運搬船 クレーン運搬機械等	作業時	使用する船舶、機械の種類が判明できるように撮影		
					函台	製作函台	着工時、作業時	函台、函台の平坦性(敷砂等)及び剥離材 (ルーフィング等)の敷設状況の撮影		
					棒鋼	保管状況	荷降し後	まくら木の配置、覆いの状態等を撮影		
					鉄筋	保管状況	加工後	加工後	まくら木の配管、覆いの状態等を撮影	
		組立て及び結束					組立時	組立て、結束状態が確認できるように撮影		
		吊筋					取付後	吊降しケーソンの場合に適用する		
					型 枠	製作及び大組製作製作 時の状況	製作時	製作時	適宜	
							組立状況	組立時	適宜	
							取外し状況	取外し後	内枠、外枠、隔壁の取外し状況を撮影	
							型枠清掃状況	清掃時	適宜	
		足 場	作業足場	組立時	組立時	内足場及び外足場の組立状況を撮影				
				昇り足場	組立時	足場の構造、安全ネット等が判明できるように撮影				
				壁継ぎ	組立時					
				足場スペース	組立時					
				解体状況	解体時					
		コン クリ ート	打設準備	打設前	打設前	打設面の不純物除去、散水状況等を撮影				
				コンクリート打設	打設時	ポンプ、スキップ、シュート、コンベア等の 打設方法及び打込状態、締固状態等を 撮影				
				仕上げ状況	表面仕上げ時	天端均し仕上げ状況を撮影				
				レイタンス除去状況	施工時	レイタンス除去状況を撮影				
				養生	養生時	打設後(底板、打継各層、天端)の養生状 況を撮影				
		3 ケー ソン 進 水 据 付 工	蓋(ネットを含む)	蓋の設置状況	進水時	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了 状態を撮影				
				バラスト投入	バラスト材投入状況	投入時	バラスト投入方法及び材料が判明ができ るように撮影			
				進 水	進水方法	進水時	斜路式、ドライドック、FD、吊降し等の方 法が判明できるように撮影			
			進水設備		進水時	設備(吊降しの場合、起重機船、吊具を含 む。)が判明できるように撮影				
			進水状況		進水時	漏水がある場合は漏水状況及び処置状 況を撮影				
	沈設の場合 使用船舶機械等		起重機船、発動機ポンプ 等設置状況	設置時	使用する船舶機械等の種類が判明でき るように撮影					
	沈設の場合 仮置作業		沈設状況	仮置時	沈設作業(注水を含む。)が判明でき るように撮影					
	係留の場合 仮置作業		係留状況	仮置時	係留作業(係留アンカーを含む。)が判明 できるように撮影					
	使用船舶		引船全景	曳航開始時	形象物等が判明できるように撮影					
	曳航用ロープ		取付状況及び 吊具取付状況	曳航開始時	曳航用ロープの取付位置及び状況につ いて撮影					

【第4編 港湾編】

編	章	節	条	枝番	工 種	撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮影頻度(撮影要領)／撮影頻度	適用
4 港 湾 編	3 一 般 施 工	7 本 体 工 (ケー ソン 式)	3 ケー ソン 進 水 据 付 工		曳航	曳航姿勢	曳航時	曳航の姿勢が判明できるように撮影	
					寄港避難	寄港及び避難の状況	寄港時、避難時	各函毎(途中寄港した場合には、その係留等の状態が判明できるように撮影)	
					蓋の設置	完了状況	完了時	各函毎(蓋の設置状況以外は4)ケーソン曳航を適用する。	
					使用船舶	引船全景	回航開始時	形象物等が判明できるように撮影	
					回航用ロープ	取付状況及び吊具取付状況	回航開始時	回航用ロープの取付位置及び状況について撮影	
					回航	回航姿勢	回航時	回航の姿勢が判明できるように撮影	
					寄港避難	寄港及び避難の状況	寄港時、避難時	各函毎(途中寄港した場合には、その係留等の状態が判明できるように撮影)	
					使用船舶機械等	起重機船、発電機ポンプ等配置状況	作業時	使用する船舶、機械等の種類が判明できるように撮影	
					据付作業	作業伏況	据付時	各函毎(据付作業が判明できるように撮影。)	
					据付位置	前面又は背面の確認	据付時	各函毎(配筋が非対象の場合に適用する。)	
		8 本 体 工 (ブ ロ ッ ク 式)	2 本 体 ブ ロ ッ ク 製 作 工		ブロック製作運搬、仮置	第9章9-7-1ケーソン製作に準ずる。			
	使用船舶機械等				起重機船、台般等	作業時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影		
	据付作業				据付作業状況	据付時	据付の全体が判明できるように撮影		
		16 上 部 工			準備仮設	プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等	着工前後作業中及び跡片付後	適宜	
	準備架設				仮設プラント、ヤード等	仮設作業時、設置後、撤去後	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影		
					コンクリートミキサー船回航	回航開始時、終了時、作業時	使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影		
					仮設道路、登坂路等	仮設作業時、設置後、撤去後	路線状況が判明できるように撮影		
	打継ぎ処理				処理作業	作業時	作業方法が判明できるように撮影		
	型枠				型枠の構造	作業時	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影		
					型枠組立て、取外し及び運搬状況	組立て、取外し及び運搬時	適宜		
					目地材等の取付状況	作業時	適宜		
					型枠清掃状況	清掃時	適宜		
	鉄筋				鉄筋の仮置、溶接、組立作業	作業時	適宜		
					保管作業	保管後	保管状況が判明できるように撮影		
					組立て、結束及び溶接	組立時	適宜		

【第4編 港湾編】

編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度(撮影要領)／撮影頻度	適用						
4 港湾編	3 一般施工	16 上部工			コンクリート	コンクリートの運搬、打設養生作業	作業時	適宜							
						打設準備	打設前	作業毎(打設面の不純物除去、散水状況等を撮影)							
						コンクリートの運搬及び打設	運搬及び打設時	運搬方法、打設方法及び打込状態、締固状況等を撮影							
						仕上状況	表面仕上時	天端均し仕上状況を撮影							
							穴埋時	型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮							
					養生	養生時	打設後の養生状況を撮影								
					足場	組立状況	組立時	適宜							
						解体状況	解体時								
					その他	灯台基礎、電柱穴、階段等	作業時	適宜							
					17 付属工	2 係船柱工				使用船舶機械等	杭打機、クレーン車(船)トラック等	設置時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影		
										施工	基礎工施工状況	施工時	基礎施工状況(杭打ち、基礎石没入、均し及びコンクリート打設等)を撮影(押込ボルトを含む。)		
										据付	本体据付状況	据付時	据付状況が判明できるように撮影		
						3 防舷材工					使用船舶機械等	台船、クレーン船、トラッククレーン	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影	
											取付け	取付位置の状況	取付前	埋込(取付)ボルトの部分及び全景取付状況の撮影	
											取付状況	取付時			
	4 車止・緑金物工						使用船舶機械等	台船、溶接機、クレーン	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影					
							取付け	取付状況	取付時	取付状況(取付け、溶接、コンクリート打設)					
							塗装状況	塗装時	各層毎の塗装状況(警戒色塗装を含む。)						
	5 防食工	電気防食					使用船舶機械等	曳船、台船、潜水土船溶接機	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影					
							製品(陽極)	取付陽極	取付前	取付陽極の部分(1組)及び取付陽極全体					
							取付け(陽極)(電位測定装置)	取付状況	取付時	取付状況(水中写真)					
							設置状況	取付時	測定用端子の設置状況						
		防食塗装						使用船舶機械等	使用船舶、機械類	施工時	曳船、台船、コンプレッサー等が判明できるように撮影				
								塗装	施工状況	施工時	各層毎				
					被覆防食			使用船舶機械等	使用船舶、機械類	施工時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影				
	19 裏込・裏埋工					使用船舶機械等	主要船舶機械	作業時	船舶機械毎(使用する船舶機械等が判明できるように撮影)						
						施工状況一般	埋立材の採取状況	採取作業時	適宜						
							埋立材連搬の状況	運搬作業時							
							埋立材整地状況	整地作業時							
							余水吐の設置及び撤去	設置作業時及び撤去時	余水吐が判明できるように撮影						
	公害防止対策	防止処理作業時	適宜												
	2 共通仮設	2 汚濁防止膜工				取付け、組立て	取付け、組立状況	組立時全体及び部分	カーテンの接続、アンカー等の取付状況が判明できるように撮影						
						設置	設置状況	設置時	作業状況が判明できるように使用船舶機械を配慮し撮影						
						撤去	撤去状況	撤去時							

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要							
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]								
6 河川編	1 築堤・護岸	7 法覆護岸工	4		護岸附属物工	幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕								
		10 水制工	8		杭出し水制工	径 杭長	1施工箇所 に1回 〔打込み前〕								
						幅 方向	1施工箇所 に1回 〔施工後〕								
		13 光ケーブル 配管工	3		配管工	配管状況	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕								
	4			ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕									
	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	6	1	函渠工(本体工)	厚さ 幅 内空幅 内空高	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕								
			6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	据付状況	120m又は1施工箇所 に1回 〔巻立前〕								
			7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕								
			8		水叩工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕								
	4 水門	3 工場製 作工	3		水門	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕								
			4		扉体、戸当り及び開閉装置		機械工事施工管理基準(案) 参照								
			10		水門塗装		機械工事施工管理基準(案) 参照								
		6 水門本 体工	7 8 9 10 11			床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕							
9 鋼管理橋 上部工										10	1	支承工 (鋼製支承)	支承取付状況	1スパンに1回 〔取付後〕	
9 鋼管理橋 上部工										10	2	支承工 (ゴム支承)	支承取付状況	1スパンに1回 〔取付後〕	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
6 河川編	4 水門	12 橋梁付 属物工 (鋼管理橋)	4		地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
			5 6		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
			7		検査路工	幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
	5 堰	6 可動堰 本体工	13 14		開門工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ 延長	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
				7 8 9 10		堰本体工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕
		8 魚道工	3		魚道本体工	厚さ 幅 高さ	200m又は測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
		9 管理橋 下部工	2		管理橋橋台工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
	6 排水 機場	4 機場 本体工	6		本体工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
			7		燃料貯油槽工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
		5 沈砂 池工	7		コンクリート床版工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
	7 床止 め・床 固め	4 床止 め工	6	1	本体工 (床固め 本体工)	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
			8	1	水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
5 床固 め工		6		側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎工	5		場所打コンクリート工	幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外後〕	
			6		海岸コンクリートブロック工	数量 ブロックの形状 寸法 据付状況	全数量 〔製作後〕 形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕 200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
		6 護岸 工	4		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	
						ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔施工後〕	
		5		コンクリート被覆工	法長 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
					裏込材厚	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕		
	8 天端 被覆工	2		コンクリート被覆工	幅 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
					基礎厚	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕		
	9 波返工	3		波返工	幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
	2 突堤・ 人工岬	4 突堤 基礎工	4		捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
			5		吸出し防止工	幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
		5 突堤 本体工	2		捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
			5		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	
						ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕	
天端幅						200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
9				石砕工	厚さ 高さ 間詰石状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕 1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
10		場所打コンクリート工	幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕				
11	1	ケーソン工 (ケーソン工製作)	壁厚 幅 高さ 長さ 底版厚さ フーチング高さ	1基毎に1回 〔製作後〕				

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	11	2	ケーソン工 (ケーソン工据付)	据付状況	1施工箇所 に1回 〔据付後〕		
				3	ケーソン工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
			12	1	セルラー工 (セルラー工製作)	壁厚 幅 高さ	1基毎に1回 〔製作後〕		
				2	セルラー工 (セルラー工据付)	据付状況	1施工箇所 に1回 〔据付後〕		
				3	セルラー工(突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
		6 根固め 工	2		捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
				3	根固めブロック工	数量 ブロックの形状 寸法	全数量 〔製作後〕 形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕		
		7 消波工	3			消波ブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	
							ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕	
							据付状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
	3 海域堤防 (人工リーフ、 離岸堤、 潜堤)	3 海域堤 基礎工	3		捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第8編 砂防編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
8 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕		
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
		8 コンクリート堰堤工	4			コンクリート堰堤本体工	骨材採取製造 コンクリート製造 運搬	月に1回 〔施工中〕	
							打継目処理 打込・養生	4リフト毎に1回 〔施工中〕	
							天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
			6			コンクリート側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
			8			水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
		9 鋼製堰堤工	5	1		鋼製堰堤本体工(不透過型)	長さ 幅 下流側倒れ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
						鋼製堰堤本体工(透過型)	堤長 堤幅 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
	6				鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕		
	2 流路	5 床固め工	8			魚道工	幅 高さ 厚さ	200m又は測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
	3 斜面対策	6 山腹水路工	4			山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	120m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	
		7 地下水排除工	4			集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
			5			集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
9 抑止杭工		6			合成杭工	偏心量	1施行箇所に1回 〔施工後〕		
	数量					全数量 〔打込後〕			

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第9編 ダム編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (本体)	天端幅 ジョイント間隔 リフト高 堤幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
					コンクリートダム工 (水叩)	ジョイント間隔 幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
					打継目処理	奇数ブロック毎に岩着部中間 リフトに1回		
					コンクリートダム工 (副ダム)	ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
					コンクリートダム工 (導流壁)	ジョイント間隔 リフト高 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
2 フィ ールド ダム	4 盛 立 工	5			コアの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
					フィルター の盛立	外側境界線 盛立幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
					ロック の盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
					フィルダム (洪水吐)	ジョイント間隔 厚さ 幅 リフト高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
3 基 礎 グ ラ ウ チ ン グ	3 ボ ー リ ン グ 工				ボーリング工	ボーリング状況 水押テスト状況 グラウト状況 深度 配置誤差	ブロック毎に1回 〔施工中〕	
					コア	地質変化毎全数量 〔抜取後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要		
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]			
10 道路編	1 道路改良	3 工場製作工	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1施工箇所1回 〔製作後〕			
			6		場所打函渠工	厚さ 幅(内空) 高さ	100m又は1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕			
			4		落石防止網工	幅	1施工箇所1回 〔施工後〕			
				5	落石防護柵工	高さ	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕			
				6	防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕			
				7	雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	1施工箇所1回 〔施工後〕			
			12 遮音壁工	4	遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕			
				5	遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1施工箇所1回 〔施工後〕			
			2 舗装	4 舗装工			歩道舗装工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
	厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕								
	幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕								
					歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			
タックコート、プライムコート						各層毎に1回 〔散布時〕				
平坦性						1工事1回 〔実施中〕				
5	9		排水性舗装用路肩排水工	据付状況	200m又は1施工箇所1回 〔施工中〕					

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
10 道路編	2 舗装	7 踏掛版工	4		踏掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	<コンクリート工> 各部の厚さ 各部の長さ	1施工箇所につき1回 〔施工後〕		
					<ラバーシュー> 各部の長さ 厚さ				
					<アンカーボルト> 中心のずれ アンカー長				
	9 標識工	4	1	1	大型標識工 (標識基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所につき1回 〔施工後〕		
					2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ		1施工箇所につき1回
		12 道路付 属物 施設工	5	1	1	ケーブル配管工	配管状況	100m又は1施工箇所につき1回 〔施工後〕	
						2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	
			6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所につき1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕		
	3 橋梁 下部	3 工場 製作 工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚につき1回又は1工事に1回 〔原寸時〕		
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
仮組立寸法 (撮影項目は適宜)						1脚につき1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕			
6 橋台 工		8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回			
					7 RC 橋脚 工	9		1	橋脚躯体工 (張出式)
		2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回				

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外後〕	
				2	橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	全数量 〔型枠取外後〕	
			10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	
				2	橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	
			11	現場継手工	継手部のすき間	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕		
					製作状況	適宜 〔製作中〕		
	8 橋梁付属物工	3		落橋防止措置工	アンカーボルト 孔の削孔長	1施工箇所に1回 〔削孔後〕		
5 コンクリート橋上部	6 プレベーム桁橋工	2		プレベーム桁製作工 (現場)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕		
					製作状況	適宜 〔製作中〕		
					仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
					幅 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
6 トンネル (N A T M)	4 支保工	3		吹付工	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕		
					湧水状況	適宜 〔掘削中〕		
					吹付面の清掃状況	40m毎に1回 〔清掃後〕		
					金網の重合せ状況	40m毎に1回 〔2次吹付前〕		
					吹付け厚さ(検測孔)	40m毎に1回 〔吹付後〕		
		4			ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施工パターン毎又は80mに1 断面〔穿孔中〕	
						ロックボルト注入 状況	施工パターン毎又は80mに1 断面〔注入中〕	
ロックボルト打設 後の状況	施工パターン毎又は80mに1 断面〔打設後〕							

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要				
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]					
10 道路編	6 トンネル (N A T M)	5 覆工	3		覆工コンクリート工	覆工 (巻立空間)	1セントルに1回 〔型枠組立後〕					
						覆工 (厚さ)	1セントルに1回 〔型枠取外し後〕					
						幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕					
			5		床版コンクリート工	幅 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕					
						幅 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕					
		6 イン パ ー ト 工	4			インパ ー ト 本 体 工	インパ ー ト (厚さ)	40m又は1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕				
							幅(全幅)	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕				
		8 坑 門 工	4			坑門本 体 工	幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕				
							5			明り巻 工	覆工 (巻立空間)	40m又は1施工箇所 に1回 〔型枠組立後〕
											覆工 (厚さ)	40m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕
幅(全幅) 高さ(内法)	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕											
11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	2			現場打 軀 体 工	厚さ 内空幅 内空高	200m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕					
						4			カラー 継 手 工	厚さ 幅 長さ	1施工箇所 に1回 〔設置後〕	
		5	1	防水工 (防水)	幅	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕						
					2	防水工 (防水保護工)	厚さ		100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕			
							3		防水工 (防水壁)	高さ 幅 厚さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
		7 プ レ キ ャ ス ト 構 築 工	2			プレキ ャ ス ト 軀 体 工	据付状 況	200m又は1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕				
		12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	2			管路工 (管路部)	敷設状 況	100m又は1施工箇所 に1回 〔敷設後〕			

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
10 道路編	12 電線共同溝	5 電線共同溝工	3		プレキャストボックス工 (特殊部)	据付状況	100m又は1施工箇所 に1回〔据付後〕	
			4		現場打ちボックス工 (特殊部)	厚さ 内空幅 内空高	100m又は1施工箇所 に1回〔型枠取外し後〕	
			6		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	
14 道路維持	4 舗装工	5		切削オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
					タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
					整正状況	400mに1回 〔施工後〕		
		7		路上再生工	敷均厚 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		
					整正状況 厚さ	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
11		グルーピング工	施工状況 出来ばえ	施工日に1回 (施工前後)				
16 道路修繕	3 工場製作工	4		桁補強材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕		
					製作状況	適宜 〔製作中〕		
					仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
	22 橋梁付属物工	4		落橋防止装置工	長さ、径、材質	1橋に1回又は1工事に1回 (材料搬入時)		
施工状況					適宜 (施工中)			

【第11編 農業農村整備編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
11 農業農村整備編	2 ほ場整備工事	3 整地工			表土扱い	表土厚	おおむね10a当たり1箇所	
					基盤造成 表土整地	基盤面 表土埋戻後	おおむね10a当たり1箇所 ただし、「情報化施工技術 の活用ガイドライン」による 断面管理の場合は、1工事 につき1回、面管理の場合 は計測ごとに1回とする。	
					畦畔復旧	幅 高さ その他必要箇所	施工延長おおむね200～400 mにつき1箇所、上記未満 は2箇所。	
		4 暗渠排水工			吸水渠	埋設深 埋設間隔 その他必要箇所	1 耕区当たり1～2箇所	
					集水渠（支線） 導水渠（幹線）	埋設深 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100 mにつき1箇所	
	3 農用地造成工事	5 畑面工			道路工（砂利道）	まき出し厚さ 転圧 厚さ 幅 その他必要箇所	幹線道路は50～100mにつ き1箇所、支線道路は200 ～400mにつき1箇所	
					耕起深耕	耕起深 つぼ掘り	おおむね1ha当たり2～3 箇所撮影するほか、つぼ掘 りは2ha当たり1箇所	
					テラス（階段畑）	幅 耕起幅 法勾配 その他必要箇所	テラス延長 100～200mに つき1箇所、上記未満は2 箇所	
					道路工（耕作道）	幅 厚さ 法勾配 側溝幅	施工延長おおむね100～200 mにつき1箇所	
					土壌改良	サンプル採取中 及び試験中の箇 所 その他必要箇所	おおむね2ha当たり1箇所	
5 水路トンネル工事	6 開渠工			改良山成	基準高 法勾配 その他必要箇所	測定点2～3箇所につき1 箇所		
				水路トンネル	巻厚 型枠 切羽 支保工 矢板 坑口 その他必要箇所	巻厚については1スパンに つき1箇所、その他は掘削 タイプの変化する毎に1箇 所		
6 水路工事	6 開渠工			現場打開水路	幅 厚さ 高さ 配筋 打継目 その他必要箇所	おおむね2スパンにつき1 箇所		
				鉄筋コンクリート 大型フリューム	布設 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100 mにつき1箇所、上記未満 は2箇所		

【第11編 農業農村整備編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
11 農業農村整備編	6 水路工事	6 開渠工			鉄筋コンクリート L形水路	幅 厚さ 布設 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100 mにつき1箇所、上記未満 は2箇所	
					現場打サイホン	幅 厚さ 高さ 配筋 打継目 その他必要箇所	おおむね2スパンにつき1 箇所	
			7 暗渠工		現場打暗渠	幅 厚さ 高さ 配筋 打継目 その他必要箇所	おおむね2スパンにつき1 箇所	
					ボックスカルバート 水路	高さ その他必要箇所	施工延長おおむね50～100 mにつき1箇所、上記未満 は2箇所	
	8 管水路工事	5 管体基礎工			管体基礎工 (砂基礎及び埋戻等)	基礎 埋戻等の厚さ 幅 まき出し 締固め状況等	施工延長おおむね50～100 mにつき1箇所、上記未満 は2箇所 ただし、「情報化施工技術 の活用ガイドライン」による 断面管理の場合は、1工 事につき1回とする。	
					管水路 (遠心力鉄筋コンク リート管)	管布設状況 外観検査 ジョイント関係 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100 mにつき1箇所、上記未満 は2箇所	
					管水路 (ダクタイル鋳鉄管) (強化プラスチック 複合管)	管布設状況 外観検査 ジョイント関係 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100 mにつき1箇所、上記未満 は2箇所	
					管水路 (硬質塩化ビニル管)	管布設状況 外観検査 ジョイント関係 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100 mにつき1箇所、上記未満 は2箇所	
					管水路 (鋼管)	芯出し据付状況 溶接作業 清掃状況 塗装 非破壊検査 ピンホール検査 膜厚検査 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100 mにつき1箇所、上記未満 は2箇所	膜厚検査で塗 膜厚の確認が 困難な場合 は、使用済塗 料空カン等の 撮影を行う。
					管水路 (埋設とう性管) たわみ率	マーキング関係 Dh及びDv寸 法 その他必要箇所	たわみ量測定箇所2箇所に つき1箇所。ただし、測定 箇所が2箇所の場合は2箇 所	Dh及びDv寸 法の測定状況 のほか、ス ケール目盛を 撮影する。
				シールド工事 (一次覆工)	セグメント設置状 況 外観検査 Dh及びDv寸法 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100 mにつき1箇所。上記未満 は2箇所。たわみ率測定箇 所2箇所につき1箇所、た だし、測定箇所が2箇所の 場合は2箇所	Dh及びDv寸 法の測定状況 のほか、ス ケール目盛を 撮影する。	

【第11編 農業農村整備編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]	
11 農業農村整備編	8 管水路工事	5 管体基礎工			シールド工事 (二次覆工)	管布設状況 外観検査 ジョイント関係 Dh及びDv寸法 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100mにつき1箇所。上記未満は2箇所。たわみ率測定箇所2箇所につき1箇所、ただし、測定箇所が2箇所の場合は2箇所	Dh及びDv寸法の測定状況のほか、スケール目盛を撮影する。
					推進工事	管布設状況 外観検査 ジョイント関係 Dh及びDv寸法 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100mにつき1箇所。上記未満は2箇所。たわみ率測定箇所2箇所につき1箇所、ただし、測定箇所が2箇所の場合は2箇所	Dh及びDv寸法の測定状況のほか、スケール目盛を撮影する。
	9 畑かん施設工事	2 末端工			スプリンクラー	埋設深	1ha当たり1～2箇所	
	18 ため池改修工事	3 堤体工			堤体工	盛土幅員 まき出し厚さ 転圧 法長 法面(芝) 法勾配 排水側溝 その他必要箇所	施工延長おおむね20m～40mにつき1箇所	
		5 洪水吐工			洪水吐工	床掘 基礎 幅 高さ 配筋 打継目 パイプ布設 外観検査 ジョイント関係 その他必要箇所	おおむね2スパンにつき1箇所。箇所単位の構造物については適宜撮影。	
		6 取水施設工			樋管工 同上付帯構造物 (土砂吐ゲート等)	床掘 基礎 幅 高さ 厚さ 配筋 打継目 その他必要箇所	施工延長おおむね10mにつき1箇所。箇所単位の構造物については適宜撮影。	

【第12編 森林土木編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要		
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]			
12	5	森林整備工事	一般		着工前用地境界	測点杭及び用地境界確認状況	現地測点杭全本数の25%以上 (最低4回) [施工前]	※施行面積がコンパス又は同等以上の精度を有する器械による測量成果に基づくものでない場合(GPS等)は、コンパスによる周囲測量により杭を設置し撮影。		
					4	地拵え	施工状況	施工地全体及び標準地 [施工前・中・後] (工程管理写真については、標準地で各1回) 又、 残存木についても管理	・標準地は400m ² を基準 ※設定し難い場合は別途協議	
							棚間隔・規模	施工地全体及び標準地 [施工前・中・後] (工程管理写真については、標準地で各1回) 又、 残存木についても管理		
							工種完了	施工地全体及び標準地 [完了後]		
					5	1	植付け(山行苗・新植)	苗木(規格・全本数)	全本数(樹種毎)及び樹種毎の規格 (搬入時毎1本) [植付前]	・標準地は400m ² を基準
								仮植状況	状況及び完了 (樹種毎1回) [施工中・後]	
								植付状況(植穴規格・地被物等の除去・苗木の運搬・植付)	全体の施工前・後及び標準地での工程管理 (1標準地で樹種毎1本、最低1本、運搬状況1枚) [植付前・中・後]	
								施肥状況(運搬含)	使用前・後の全数量及び1本当たりの施肥量 (1標準地で樹種毎1本、最低1本、運搬状況1枚) [施工中・後]	
								添竹設置状況(規格・運搬含)	全本数及び標準地での工程管理 (1標準地で1本、運搬状況1枚) [施工中・後]	
								植栽完了	施工地全体及び標準地(植栽本数・植栽間隔) [完了時]	
					5	2	植付け(小・中・大苗木)	苗木(規格・全本数)	全本数(樹種毎)及び樹種毎の規格 (搬入時毎3本) [植付前]	・標準は、100本当たり3本の管理であるが、樹種別の総本数により監督員と協議
								植付状況(植穴・地被物等の除去・苗木の運搬・植付)	樹種毎3本/100本 [植付前・中・後]	
施肥状況(運搬含)	使用前・後の全数量及び1本当たりの施肥量 (樹種毎3本/100本) [施工中・後]									
客土状況(運搬含)	使用前・後の全数量及び1本当たりの客土量 (樹種毎は3本/100本) [施工前・中・後]									
支柱設置状況(規格・運搬含)	材料全本数及び樹種・支柱別 (3本/100本) [施工中・後]									
植栽完了	施工地全体及び部分写真 (ナンバリングテープ写真は、1・20・40・・・最終本) [完了時]									

【第12編 森林土木編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影・提出頻度〔時期〕		
12	5	2	8		植付け(山行苗の部分補植)	苗木 (規格・全本数)	全本数(樹種毎)及び樹種毎の規格 (搬入時毎1本) [植付前]	10本間隔については、全体本数等を考慮し監督員と協議	
						仮植状況	状況及び完了(樹種毎1回) [施工中・後]		
						植付状況 (植穴規格・地被物等の除去・苗木の運搬・植付)	全体の施工前・後及び標準地での工程管理 (1標準地で樹種毎1本) [植付前・中・後]		
						施肥状況 (運搬含)	使用前・後の全数量及び1本当たりの施肥量 (1標準地で樹種毎1本) [施工中・後]		
						添竹設置状況 (規格・運搬含)	全本数及び標準地での工程管理 (1標準地で樹種毎1本) [施工中・後]		
						植栽完了	施工地全体(ナンバリングテープ写真管理は、1・20・40・・・最終本)及び標準地(植栽間隔) [完了時]		
	3		1		風倒木整理工	施工状況 (伐木造材・枝条整理・木寄)	施工地全体の前・後及び標準地での工程管理 (標準地で2回) [施工前・中・後]	・標準地は400m ² を基準 ・10本間隔については、全体本数等を考慮し監督員と協議	
						風倒木整理完了	施工地全体の施工前・後及び標準地で伐採木管理 (標準地で全伐採木にナンバリングテープ写真管理は、1本・50本間隔・最終本) [完了時]		
	4	12			下刈り つる切り 追肥	施工状況	施工地全体の施工前・後及び標準地での工程管理 (1標準地2回) ※下刈り、密度管理及び草高管理標準地で1回、つり切りは、繁茂状況を標準地で1回、追肥は植付けの施肥に準ずる。 [施工前・中・後]	・標準地は400m ² を基準(つり切り、追肥)	
						工種完了	施工地全体及び標準地 [完了時]		
		3	1			除伐(広葉樹)	施工状況	施工地全体の施工前・後及び標準地での工程管理 (1標準地毎2回) ※密度管理及び伐採率管理は標準地で1回 [施工前・中・後]	・標準地は400m ² を基準
							工種完了	施工地全体及び標準地 [完了時]	
3		2			除伐(針葉樹) 本数調整伐	選木状況 (胸高直径・樹高)	標準地毎2回 (テープ等により判別) [選木時]	・標準地は400m ² を基準 ・本数調整伐での撮影頻度については標準地数及び工区数を考慮し監督員と協議。	
						施工状況 (伐倒・玉切・枝払い・集積)	施工地全体の前・後及び標準地での工程管理 (標準地内外で各工程3回) (標準地内伐採木のナンバリングテープ管理写真は、全数) [施工前・中・後]		
	工種完了					施工地全体及び標準地 [完了時]			

【第12編 森林土木編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影・提出頻度〔時期〕	
1 2 森林土木編	5 森林整備工事	4 保育	4	1	枝落し(2m)	施工状況 (枝落し高含)	施工地全体の前・後及び標準地での工程管理 (標準地で各工程2回) ※枝落し高管理は標準地で1回 [施工前・中・後]	・標準地は400m ² を基準
						工種完了	施工地全体及び標準地 [完了時]	
			4	2	枝落し(3m以上)	施工状況 (枝落し高・枝落し本数含)	施工地全体の前・後及び標準地での工程管理 (標準地で各工程2回) ※枝落し高、本数管理は標準地で1回 [施工前・中・後]	・標準地は400m ² を基準
						工種完了	施工地全体及び標準地 [完了時]	
			6		雪起し工 (倒木起し)	施工状況 (樹高・倒木 起し率含)	施工地全体の前・後及び標準地での工程管理 (標準地で各工程2回) ※樹高、倒木起し率等の管理は標準地で1回 [施工前・中・後]	・標準地は400m ² を基準
						工種完了	施工地全体及び標準地 [完了時]	
6	1	作業歩道作設工	掘削工(幅、法長)	200m又は、1施工箇所1回 [掘削後]				
6 海岸防災林造成工	2 森林造成	4	防風柵 シカ等動物被害防止 柵	全使用材料	全使用材料 [使用前]			
				杭打込深さ・杭径・杭長	80mに1回又は、施工箇所毎に1回 [打込み前後]			
				施工状況 (材料等の運搬含)	80mに1回又は、施工箇所毎に1回 [施工中]			
				高さ 杭間隔・杭本数	80mに1回又は、施工箇所毎に1回 [施工後]			

【第13編 漁港漁場編】

編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度(撮影要領)／撮影頻度	適用						
13 漁港 漁場 編	3 共通 仮設	2 汚濁 防止 膜工			取付け、組立て	取付け、組立状況	組立時全体及び部分	カーテンの接続、アンカー等の取付状況が判明できるように撮影							
					設置	設置状況	設置時	作業状況が判明できるように使用船舶機械を配慮し撮影							
					撤去	撤去状況	撤去時								
	5 一般 施工	3 共通 的工 種	2 共通 事項			浚渫 (使用船舶機械等)	作業現場	現地搬入前 又は現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影						
						ポンプ浚渫	浚渫位置測量状況	測量時	法線又は区域標識を入れる						
							排砂管設置・撤去	作業時	設置状況が判明できるように撮影						
							零号、中継船設置、撤去	作業時	適宜						
							浚渫状況	作業時、作業船毎	浚渫位置が判明できる背景を入れる						
							排砂状況	排砂時	適宜						
							海洋汚染防止対策	対策を講じた時	適宜						
						グラブ等浚渫	浚渫位置測量状況	測量時	法線又は区域標識を入れる						
							浚渫状況	作業時、作業船毎	船団の配置及び浚渫位置を判明できる背景を入れること						
							土質状況	浚渫作業時	位置、深度又は層を明記する						
							浚渫土砂の運搬状況	運搬時積載状況	適宜						
							浚渫土砂の土捨状況	土捨時指定区域内	土捨位置が判明できる背景を入れること						
							海洋汚染防止対策		土捨区域を示す浮標灯などを入れる						
						障害物撤去	障害物積込状況	積込時	運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影など障害物の状況に応じ撮影						
							運搬船に積込まれた状態	積込完了時(運搬毎適宜)	適宜						
							障害物捨込状況	捨込時	全景が判明できるように撮影						
						6 圧密・ 排水工					使用船舶機械等	運搬船舶機械	投入時	適宜	
											均し船舶機械	均し作業時	均し用具は、作業前に撮影		
											その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時	適宜	
												飛砂防止対策	対策を講じた時	適宜	
											砕石ドレーン	(使用施工機械) クローラクレーン アースオーガマシン リーダーオーガ 発動発電機 コンプレッサ トラクターショベル	現場搬入時 組立時、機械毎		
												施工状況	施工時	適宜	
											サンドドレーン ペーバードレーン サンドコンパク ショパイル	(使用施工機械) 杭打船舶機械	打設時	組立完了後船舶機械等	
												記録計器	打設時		
												測量槽等	測量中	槽等毎	
												砂運搬船舶機械	運搬中	使用船舶毎(全景)	
											載荷(土砂)	(使用施工機械) 砂運搬船、機械	運搬時	船舶機械毎	
	排砂管設備	敷設時 排砂中	適宜												
	浚渫船(採取船)	浚渫中	適宜												
	海洋汚染防止対策	対策を講じた時	適宜												
	ロッドコンパクション	(使用施工機械) 振動体(バイプロ)	現場搬入時 組立時	使用機械毎全景											
		ロッド、リーダー、トラク ターショベル、発動発電 機、ショベルローダー	現場搬入時 組立時	使用機械毎全景											
		施工状況	施工時	全景											
	8 固化工										深層混合処理	(使用施工機械) 改良船、材料運搬船、潜 水土船、引船、揚錨船	搬入時	使用船舶毎	
											施工状況 測量槽設置、撤去状況	測量槽設置時 改良船位誘導時	適宜		

【第13編 漁港漁場編】

編	章	節	条	枝番	工 種	撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮影頻度(撮影要領)／撮影頻度	適用	
13	漁港漁場編	5	1	3	8 固化工	深層混合処理	障害物撤去状況	調査、撤去時	適宜	
							改良杭打設状況	試験杭打時 作業時	適宜	
							海洋汚染防止対策	対策を講じた時	適宜	
							改良船計器類 代表的計器	計測時	適宜	
						マット類の確認	補強材セット状況	作業中、完了時	作業状況が判明できるように撮影	
							アスファルト、コンクリート 打設状況	打設時	適宜	
							搬入仮置	搬入仮置時	適宜	
							アンカー取付け、加工	取付加工時	適宜	
					敷設状況	敷設状況と使用船舶機 械	敷設時	適宜		
						10 中詰工	使用船舶機械等	連搬船等	施工時	作業状況が判明できるように撮影
							投入	投入状況	施工時	
							均し	均し状況	施工時	
					締固め		締固め状況	施工時		
					11 蓋 コン クリ ート	使用船舶機械等	コンクリートミキサー船及 び付属船	コンクリート打設前	コンクリートミキサー船及び付属船の形状 が判るように前方、側面からそれぞれ撮影	
						ルーフィング敷設	中詰上面	コンクリート打設前		
						コンクリート積込 運搬状況	陸上及び海上	コンクリート打設前	作業状況が判明できるように撮影	
						コンクリート打設	打設状況	打設時	プレキャストコンクリートを使用する場 合は、コンクリートブロックの撮影基準を適用 する。	
						天端仕上げ	仕上げ状況	仕上げ時		
						養生	作業状況	養生時		
					14 控工	控工 腹起しの取付	取付け及び締付状況 腹起し継手部の施工状 況	施工中及び完了時	適宜	
						タイロッド受抗	(9-5-2)抗及び矢板を適 用する。			
						タイロッド、 タイフイヤーの組 立て、取付け プレキャストコン クリート控壁、控 杭、控矢板 控頂部コンクリ ート 場所打コンクリ ート 控壁	組立て及び取付状況	施工時	(3-13,15,16)矢板及び杭を適用する。 (3-8)コンクリートブロックを適用する。 (3-16) 上部コンクリートを適用する。	
						杭の保管	保管状況	保管時	全景及びまくら木、くさび等の変形、転落 防止措置を撮影	
						杭の積込み	吊上げ及び積込状況	作業時	使用機械器具、積込方法が判明できるよ うに機影	
						杭の運搬	運搬状況	作業時	荷くずれ防止措置、台船への積載状況、 使用船舶機械等が判明できるよう撮影	
						導材の設置	導材の設置状況	作業時	使用材料及び船舶機械、導材の構造が 判明できるよう撮影	
						杭の建込み	建込状況 (位置出し、吊込み、建込 み等)	作業時	作業状況等が判明できるように撮影	
						杭の打込み	打込状況	作業時	杭打船等の全景、打込み方法、順序等が 判明できるよう撮影	
							ハンマーの種類、型式等	適宜		
					打込書己録中		測定時			
					飛油、騒音防止対策		対策を講じた時	適宜飛油対策、騒音防止対策等を行った 場合		

【第13編 漁港漁場編】

編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度(撮影要領)/撮影頻度	適用					
13 漁港 漁場 編	5 一般 施工	3 共通 的工 種	16 コン クリ ート 杭		コンクリート杭 鋼矢板 及び鋼管矢板 コンクリート矢板	(3-3-15)鋼杭工を適用する。								
				6 基礎 工	4 基礎 捨石 工	準備、仮設	ストックヤード、 仮設道路等	使用前後	適宜					
						陸上運搬	ストック、積み込み、 運搬状況	運搬時	作業機械、作業状況等が判明できるように撮影					
		捨石投入	投入状況			投入時	捨石規格毎及び作業船種毎							
		捨石均し	均し状況			作業中	規格及び作業船毎							
		7 本体 工(ケー ソン式)	2 ケー ソン 製作 工			ケーソン製作 ヤード等	ヤード及び設備	着工時	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影					
						使用船舶機械等	引船、起重機船、運搬船 クレーン運搬機械等	作業時	使用する船舶、機械の種類が判明できるように撮影					
						函台	製作函台	着工時、作業時	函台、函台の平坦性(敷砂等)及び剥離材(ルーフィング等)の敷設状況の撮影					
						棒鋼	保管状況	荷降し後	まくら木の配置、覆いの状態等を撮影					
								加工後	組立て及び結束	組立時	組立て、結束状態が確認できるように撮影			
									吊筋	取付後	吊降しケーソンの場合に適用する			
						型枠	製作及び大組製作製作 時の状況	製作時	適宜					
								組立状況	組立時	適宜				
								取外し状況	取外し後	内枠、外枠、隔壁の取外し状況を撮影				
								型枠清掃状況	清掃時	適宜				
						足場	作業足場	組立時	内足場及び外足場の組立状況を撮影					
								昇り足場	組立時	足場の構造、安全ネット等が判明できるように撮影				
								壁継ぎ	組立時					
								足場スペース	組立時					
								解体状況	解体時					
						コンクリート	打設準備	打設前	打設面の不純物除去、散水状況等を撮影					
								コンクリート打設	打設時	ポンプ、スキップ、シュート、コンベア等の打設方法及び打込状態、締固状態等を撮影				
								仕上げ状況	表面仕上げ時	天端均し仕上げ状況を撮影				
								レイタンス除去状況	施工時	レイタンス除去状況を撮影				
								養生	養生時	打設後(底版、打継各層、天端)の養生状況を撮影				
						3 ケー ソン 進水 据付 工				蓋(ネットを含む)	蓋の設置状況	進水時	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了状態を撮影	
										バラスト投入	バラスト材投入状況	投入時	バラスト投入方法及び材料が判明ができるように撮影	
										進水	進水方法	進水時	斜路式、ドライドック、FD、吊降し等の方法が判明できるように撮影	
		進水設備	進水時	設備(吊降しの場合、起重機船、吊具を含む。)が判明できるように撮影										
		進水状況	進水時	漏水がある場合は漏水状況及び処置状況を撮影										
		沈設の場合 使用船舶機械等	起重機船、発動機ポンプ 等設置状況	設置時	使用する船舶機械等の種類が判明できるように撮影									

【第13編 漁港漁場編】

編	章	節	条	枝番	工 種	撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮影頻度(撮影要領)／撮影頻度	適 用			
13 漁港 漁場 編	5 一 般 施 工	7 本 体 工 (ケ ー ソ ン 式)	3 ケ ー ソ ン 進 水 据 付 工		沈設の場合 仮置作業	沈設状況	仮置時	沈設作業(注水を含む。)が判明できるように撮影				
					係留の場合 仮置作業	係留状況	仮置時	係留作業(係留アンカーを含む。)が判明できるように撮影				
					使用船舶	引船全景	曳航開始時	形象物等が判明できるように撮影				
					曳航用ロープ	取付状況及び 吊具取付状況	曳航開始時	曳航用ロープの取付位置及び状況について撮影				
					曳航	曳航姿勢	曳航時	曳航の姿勢が判明できるように撮影				
					寄港避難	寄港及び避難の状況	寄港時、避難時	各函毎(途中寄港した場合には、その係留等の状態が判明できるように撮影				
					蓋の設置	完了状況	完了時	各函毎(蓋の設置状況以外は4)ケーソン曳航を適用する。				
					使用船舶	引船全景	回航開始時	形象物等が判明できるように撮影				
					回航用ロープ	取付状況及び 吊具取付状況	回航開始時	回航用ロープの取付位置及び状況について撮影				
					回航	回航姿勢	回航時	回航の姿勢が判明できるように撮影				
					寄港避難	寄港及び避難の状況	寄港時、避難時	各函毎(途中寄港した場合には、その係留等の状態が判明できるように撮影				
					使用船舶機械等	起重機船、発電機 ポンプ等配置状況	作業時	使用する船舶、機械等の種類が判明できるように撮影				
					据付作業	作業状況	据付時	各函毎(据付作業が判明できるように撮影。)				
					据付位置	前面又は背面の確認	据付時	各函毎(配筋が非対象の場合に適用する。)				
					8 本 体 工 (ブ ロ ッ ク 式)	2 本 体 ブ ロ ッ ク 製 作 工		ブロック製作 運搬、仮置	第9章9-7-1ケーソン製作に準ずる。			
						3 本 体 ブ ロ ッ ク 据 付 工		使用船舶機械等	起重機船、台般等	作業時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影	
								据付作業	据付作業状況	据付時	据付の全体が判明できるように撮影	
					16 上 部 工			準備仮設	プラント仮設、コンクリート ミキサー船回航、仮設道 路、登坂路等	着工前後作業中及び 跡片付後	適宜	
								準備架設	仮設プラント、ヤード等	仮設作業時、設置 後、撤去後	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影	
									コンクリートミキサー船回 航	回航開始時、終了 時、作業時	使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影	
				仮設道路、登坂路等		仮設作業時、設置 後、撤去後)	路線状況が判明できるように撮影					
				打継ぎ処理		処理作業	作業時	作業方法が判明できるように撮影				
				型枠		型枠の構造	作業時	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影				
						型枠組立て、取外し及び 運搬状況	組立て、取外し及び 運搬時	適宜				

【第13編 漁港漁場編】

編	章	節	条	枝番	工 種	撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮影頻度(撮影要領)／撮影頻度	適用						
13	漁港漁場編	5	一般施工	16	上部工	型枠	目地材等の取付状況	作業時	適宜						
							型枠清掃状況	清掃時	適宜						
						鉄筋	鉄筋の仮置、溶接、組立作業	作業時	適宜						
							保管作業	保管後	保管状況が判明できるように撮影						
							組立て、結束及び溶接	組立時	適宜						
						コンクリート	コンクリートの運搬、打設養生作業	作業時	適宜						
							打設準備	打設前	作業毎(打設面の不純物除去、散水状況等を撮影)						
							コンクリートの運搬及び打設	運搬及び打設時	運搬方法、打設方法及び打込状態、締固状況等を撮影						
							仕上状況	表面仕上時 穴埋時	天端均し仕上状況を撮影 型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影						
						足場	組立状況	組立時	適宜						
							解体状況	解体時							
						その他	灯台基礎、電柱穴、階段等	作業時	適宜						
						17	付属工	2	係船柱工		使用船舶機械等	杭打機、クレーン車(船)トラック等	設置時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影	
											施工	基礎工施工状況	施工時	基礎施工状況(杭打ち、基礎石没入、均し及びコンクリート打設等)を撮影(押込ボルトを含む。)	
											据付	本体据付状況	据付時	据付状況が判明できるように撮影	
								3	防舷材工		使用船舶機械等	台船、クレーン船、トラッククレーン	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影	
		取付け	取付位置の状況	取付前	埋込(取付)ボルトの部分及び全景取付状況の撮影										
		4	車止・縁金物工		使用船舶機械等			台船、溶接機、クレーン	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影					
					取付け			取付状況	取付時	取付状況(取付け、溶接、コンクリート打設)					
					塗装状況			塗装時	各層毎の塗装状況(警戒色塗装を含む。)						
		5	防食工	電気防食				使用船舶機械等	曳船、台船、潜水土船溶接機	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影				
								製品(陽極)	取付陽極	取付前	取付陽極の部分(1組)及び取付陽極全体				
								取付け(陽極)(電位測定装置)	取付状況	取付時	取付状況(水中写真)				
								設置状況	取付時	測定用端子の設置状況					
				防食塗装	使用船舶機械等			使用船舶、機械類	施工時	曳船、台船、コンプレッサー等が判明できるように撮影					
					塗装			施工状況	施工時	各層毎					
		被覆防食	使用船舶機械等	使用船舶、機械類	施工時			使用する船舶機械等が判明できるように撮影							
			被覆防食の作業	施工状況	施工時			適宜							
		19	裏込・裏埋工			使用船舶機械等	主要船舶機械	作業時	船舶機械毎(使用する船舶機械等が判明できるように撮影)						
						施工状況一般	埋立材の採取状況	採取作業時	適宜						
							埋立材連搬の状況	運搬作業時							
							埋立材整地状況	整地作業時							
							余水吐の設置及び撤去	設置作業時及び撤去時	余水吐が判明できるように撮影						
		公害防止対策	防止処理作業時	適宜											

【魚礁・着定基質工】

編	章	節	条	枝番	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
								撮影箇所	撮影時期		
13 (漁)第1編共通編	5 一般施工	24 魚礁工	2		単体魚礁製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	第4編3-7-2ケーソン製作の関連事項を適用する。	
							使用船舶機械等	クレーン等	作業時		
							函台	製作函台	着工時		
							鉄筋				
							型枠				
							足場				
							コンクリート				
						品質管理			コンクリートの品質管理を適用する。		
		出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	第4編3-7-2ケーソン製作の関連事項を適用する。					
			型枠	組立完了	組立確認後						
			コンクリート	形状寸法・外観	打設後		番号等を入れて撮影				
			完成	完成品	完成時		個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)				
				仮置状況	仮置時		積重ね段数が判明できるように撮影				
		4 魚礁沈設工		沈設	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影		
						沈設位置測量作業	測量作業状況	測量時	測量作業状況が判明できるように撮影		
						沈設作業	沈設作業状況	積込時 沈設時 沈設完了時	沈設作業が判明できるように撮影(全基数)		
出来形管理	出来形の確認				測定状況	測定時					
13 (漁)第1編共通編	5 一般施工	24 魚礁工	3	1、2	コンクリート部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	第4編3-7-2ケーソン製作の関連事項を適用する。	
							使用機械等	クレーン等	作業時		
							足場				
							組立部材	運搬状況	作業時		荷崩れ防止装置、積載状況が判断出来るように撮影
								保管状況	搬入後		まくら木の配置、覆いの状態等を撮影
								組立状況	組立時		組立部分及び全景組立状況を撮影
							品質管理	組立部材の外観、形状寸法、質量	観察、測定状況		観察、測定時
						出来形管理	ボルト等	取付外観 締付強度測定	観察時、測定時		
		完成	完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)						
			仮置状況	仮置時							
		1、2		鋼製部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	第4編3-7-2ケーソン製作の関連事項を適用する。		
						使用機械等	クレーン等	作業時			
						足場					
						組立部材	運搬状況	作業時		荷崩れ防止装置、積載状況が判断出来るように撮影	
							保管状況	搬入後		まくら木の配置、覆いの状態等を撮影	
							組立状況	組立時		組立部分及び全景組立状況を撮影	
品質管理	組立部材の外観、形状寸法、質量					観察、測定状況	観察、測定時	部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影			
出来形管理	溶接の外観					溶接外観	観察時				
	のど厚、脚長、溶接長等					計上寸法	測定時	テープ、ゲージ等を同時撮影			
	溶接部試験				非破壊試験の状況	試験時					
	完成	完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)							
仮置状況		仮置時									

出来形管理写真撮影箇所一覧表

編	章	節	条	枝番	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
								撮影箇所	撮影時期		
13 (漁)第1編共通編	5 一般施工	24 魚礁施工	3 組立魚礁組立工	1、2	化学系(FRP等)部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	第4編3-7-2ケーソン製作の関連事項を適用する。	
							使用機械等	クレーン等	作業時		
							足場				
						組立部材	運搬状況	作業時	荷崩れ防止装置、積載状況が判断出来るように撮影		
							保管状況	搬入後	まくら木の配置、覆いの状態等を撮影		
							組立状況	組立時	組立部分及び全景組立状況を撮影		
						品質管理	組立部材の外観、形状寸法、質量	観察、測定状況	観察、測定時		部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影
						出来形管理	接続帯等	取付外観	観察時		
							完成	完成品	完成時		個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)
								仮置状況	仮置時		
					重錘コンクリート				第4編3-8-2ブロック製作、運搬、仮置の関連事項を適用する。		
					現場鋼材溶接被覆溶接(水中)スタッド溶接(水中)	施工管理	開先の加工	加工状況	作業中	使用機械器具が判明できるように撮影	
							溶接	作業状況	作業中		
							水中溶接	作業状況	作業中		
						出来形管理	外観、形状寸法	観察、測定状況	測定時		
								形状寸法	測定時	ゲージを同時撮影	
							試験	試料の採取状況	採取前及び採取後		
								強度試験の状況	試験時		
					非破壊試験の状況						
					カラーチェックの結果						
					現場鋼材切断	施工管理	切断	作業状況	作業中	使用機械器具が判明できるように撮影	
							水中切断	作業状況	作業中		
						品質管理	酸素ガス及び溶解アセチレン	<特>の品質であることの表示	使用前	ポンペの表示等が判明できるように撮影	
						出来形管理	外観、形状寸法	観察、測定状況	測定時		
								形状寸法		ゲージを同時撮影	
					25 増殖場工	2 着定基質製作工	施工管理			第4編3-8-2本体工(ブロック式)ブロック製作、運搬、仮置の関連事項(魚礁タイプは5-25-2単体魚礁製作工)を適用する。	
							品質管理				
出来形管理											
3 着定基質組立工	施工管理					5-25-3 組立魚礁組立工を適用する。					
	品質管理										
	出来形管理										
4 着定基質設置工	施工管理					5-25-4 沈設を適用する。					
	品質管理										
	出来形管理										
5 石材投入工	施工管理	準備	ストックヤード等	ストックヤード使用前後							
		石材投入	投入状況	投入時、石材規格毎作業船種毎							
		石材均し	均し状況	規格及び作業船毎							
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	公的機関が実施する場合は省略できる。						
		材料の確認	産地・規格	投入時	スタッフ、テープ等を同時撮影						
	出来形管理	出来形の確認	測量状況	測量作業時							

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【その他】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
その他					舗装工関係	橋面防水工	塗布又は設置状況	1施工箇所につき1回 〔施工中〕	
					ダム工関係	仮排水路	厚さ、高さ	100m又は1施工箇所につき1回 〔型枠取外し後〕	
					仮締切(土石)	巻出し厚	100m又は1施工箇所につき1回 〔巻出し時〕		
						転圧状況	転圧機械が変わる毎につき1回 〔締固時〕		
					仮締切(コンクリート)	厚さ、高さ	100m又は1施工箇所につき1回 〔型枠取外し後〕		
					基礎掘削	組合せ機械	組合せ機械変わる毎につき1回 〔施工中〕		
						土質、岩質	土質、岩質変わる毎につき1回 〔掘削中〕		
						岩盤清掃状況	1施工箇所につき1回 〔清掃前後〕		
					堤体コンクリート打設	骨材採取製造、コンクリート製造、運搬	月に1回 〔施工中〕		
						打継目処理、打込養生	8リフト毎につき1回 〔施工中〕		
					堤体止水	止水板の厚さ、幅、埋設位置、岩着及び溶接	各ブロック毎、先行ブロックについて4リフト毎につき1回 〔据付後〕		
					堤体排水工	排水孔の位置、箱抜断面、排水管取付箇所	各ブロック毎、先行ブロックについて4リフト毎につき1回 〔据付後〕		
					堤体冷却工	配管間隔、通水状況	5リフト毎につき1回 〔据付後〕		
					堤体埋設計器	器種、位置、間隔	1施工箇所につき1回 〔据付後〕		
					トンネル関係	トンネル坑門工	厚さ、幅、高さ	1施工箇所につき1回 〔埋戻し前〕	
						トンネル(矢板工法)	岩質	岩質が変わる毎につき1回 〔掘削中〕	
							湧水状況	適宜 〔掘削中〕	
						埋設支保工(建込間隔、寸法、基数)	100m又は1施工箇所につき1回 〔建込後〕		
						湧水処理工設置状況	全数量 〔設置後〕		
						集水渠(幅、高さ、位置)	100m又は1施工箇所につき1回 〔設置後〕		
						地下排水工(管接合据付状況)			

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【その他】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
その他					トンネル(矢板工法)	トンネル関係	地下排水工 (フィルター厚さ)	100m又は1施工箇所 に1回 〔投入前後〕	
						トンネル関係	矢板設置状況	岩質の変わる毎 に1回 〔設置後〕	
						トンネル関係	グラウト材料使用量	全数量 〔使用前後〕	
						シールド	掘削の地山状態	地質の変化の毎 に1回 〔掘削中〕	
							セグメント組立状況	1工事に1回 〔組立後〕	
							二次覆工(セグメント清掃状況)	1工事に1回 〔清掃後〕	
							二次覆工の厚さ	1スパンに1回 〔型枠取外し後〕	
					維持修繕工関係	アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に1回 〔施工前後〕	
						コンクリート舗装	目地掃除	3,000㎡に1回 〔施工前後〕	
							目地充填	3,000㎡に1回 〔施工後〕	
							注入工、削孔状況(位置、間隔)	2,000㎡に1回 〔削孔後〕	
							注入工、注入圧	2,000㎡に1回 〔注入時〕	
							目地亀裂防止材、張付け状況	3,000㎡に1回 〔張付け後〕	
							局部打換、各層厚さ	各層毎100mに1回又は1施工箇所 に1回 〔施工前後〕	
						路肩、路側路盤工	厚さ	100mに1回又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	
						道路除草	施工状況	2kmに1回(1回刈毎) 〔施工前後〕	
						路肩整正	施工状況	1kmに1回	
						新設、更新、修理防護柵類	施工状況	1施工箇所に1回(施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	
						新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、施工状況	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	
						新設、更新、修理照明灯	基礎幅、深さ、施工状況	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	
					視線誘導標	施工状況	施工日に1回 〔施工後〕		
					清掃(路面、標識、側溝、集水柵)	施工状況	施工日に1回 〔施工前後〕		
					区画線路面表示	施工状況	施工日に1回 〔施工前後〕		
		材料使用量	全数量 〔施工前後〕						

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【その他】

編	章	節	条	枝番	工 種	写 真 管 理 項 目		摘 要	
						撮影項目	撮影・提出頻度[時期]		
その他					維持修繕工関係	街路樹植樹	施工状況	適宜 [施工前後]	
						街路樹補強補植	施工状況	適宜 [施工前後]	
						街路樹剪力	施工状況	街路樹50本1回、グリーンベルト100m1回 [施工前後]	
						街路樹消毒、施肥	施工状況	街路樹50本1回、グリーンベルト100m1回 [施工中]	
						街路樹雪囲	施工状況	適宜 [施工後]	
						排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回 施工中	
						凍結防止剤散布	施工状況 材料使用量	施工中に1回 施工中 全数量 [施工前後]	
						河川除草	施工状況、刈草 処理状況	1kmに1回(1回刈毎) [施工前後]	
					応急処置	処理の状況	その都度[施工前後]		
					鉄筋・無筋コンクリート関係	配筋	位置、間隔、継手寸法	打設ロット毎に1回又は1施工箇所に1回 [組立後]	
						コンクリート打設	打継目処理、締固施工状況	工種種別毎に1回 [施工時]	
						養生	養生状況	工種種別毎に1回、養生方法毎に1回 [養生時]	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影・提出頻度 [時期]	
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工 コンクリート・吹付け コンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	圧縮強度試験 に使用したコン クリートの供試 体が、当該現 場の供試体で あることが確認 できるもの
		スランプ試験		
		コンクリートの圧縮強度試験		
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 [試験実施中]	
	コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	コンクリート舗 装の場合適用	
	コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コン クリートダム・覆工 コンクリート・吹付け コンクリートを除く) (施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中] ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)構造物工 編(試行)」により施工完了時の状 況(全周)の提出によりひび割れ 調査写真を代替することができる		
	テストハンマーによる強度 推定調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]		
	コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が 認められた時 [試験実施中]		
5	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	
		超音波探傷検査		
7	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	
		浸透探傷試験	試験毎に1回 [試験実施中]	
		放射線透過試験		
		超音波探傷試験		
		水セメント比試験		
セメントミルクの圧縮強度試験				
11	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	
		プルフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]	
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
		土の液性限界・塑性限界試験		
含水比試験				
12	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	
		粒度		
		平板載荷試験		
		土の液性限界・塑性限界試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
		含水比試験		

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影・提出頻度 [時期]	
13	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		
14	セメント安定処理路盤(施工)	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	
		現場密度の測定		
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
15	アスファルト舗装(プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定		
		水浸ホイールトラッキング試験		
		ホイールトラッキング試験		
		ラベリング試験		
	アスファルト舗装(舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		温度測定		
		外観検査		
		すべり抵抗試験		
16	転圧コンクリート(施工)	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	
		マーシャル突き固め試験		
		ランマー突き固め試験		
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [温度測定中]	
		温度測定(コンクリート)		
		現場密度の測定		
コアによる密度測定				
17	グースアスファルト舗装(プラント)	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		リュエル流動性試験240℃		
		ホイールトラッキング試験		
		曲げ試験		
		粒度		
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定		
	グースアスファルト舗装(舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
18	路床安定処理工	現場密度の測定	路床每または施工箇所毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	
		ブルーフローリング	路床毎に1回 [試験実施中]	
		平板載荷試験		
		現場CBR試験		
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	
たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]			

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影・提出頻度 [時期]	
19	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	
		現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	
		ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]	
		平板載荷試験	材質毎に1回 [試験実施中]	
		現場CBR試験		
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]	
20	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]	
21	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜 [試験実施中]	
		モルタルの圧縮強度試験		
		多サイクル確認試験		
		1サイクル確認試験		
22	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	
23	吹付工 (施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	モルタルを除く
		コンクリートの圧縮強度試験		
		スランプ試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]	
		空気量測定		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
24	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]	モルタルを除く
		塩化物総量規制		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
		スランプ試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]	
		空気量測定		
		ロックボルトの引抜き試験	試験毎に1回 [試験実施中]	
25 26	河川・海岸土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 [試験実施中]	
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]	
27	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影・提出頻度 [時期]	
28	道路土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	
		プルフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]	
		平板載荷試験	土質毎に1回 [試験実施中]	
		現場CBR試験		
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]	
		たわみ量	プルフローリングの不良箇所について実施 [試験実施中]	
29	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]	
		岩石の吸水率		
		岩石の圧縮強さ		
		岩石の形状		
30	コンクリートダム (材料)	アルカリ骨材反応対策	採取地毎に1回 [試験実施中]	
		骨材の密度及び吸水率試験		
		骨材のふるい分け試験		
		砂の有機不純物試験	砂質毎に1回 [試験実施中]	
		モルタルの圧縮強度による砂の試験		
		骨材の微粒分量試験	骨材毎に1回 [試験実施中]	
		粗骨材中の軟石量試験		
		骨材中の粘土塊量の試験		
		硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験		
	粗骨材のすりへり試験			
	練り混ぜ水の水質試験			
	コンクリートダム (施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	
		スランプ試験	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]	
空気量測定				
コンクリートの圧縮強度試験		配合毎に1回 [試験実施中]	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影・提出頻度 [時期]	
30	コンクリートダム (施工)	温度測定	配合毎に1回 [試験実施中]	気温・コンクリート
		コンクリートの単位容積質量試験		
		コンクリートの洗い分析試験		
		コンクリートのブリージング試験		
		コンクリートの引張強度試験		
		コンクリートの曲げ強度試験		
31	覆工コンクリート (NATM)	スランブ試験	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]	
		コンクリートの圧縮強度試験 塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	
		空気量測定	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]	
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
		コンクリートの洗い分析試験		
32	吹付けコンクリート (NATM)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	圧縮強度試験 に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験		
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]	
		空気量測定		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
		吹付けコンクリートの初期強度	トンネル施工長40mごとに1回	
33	ロックボルト (NATM)	モルタルの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]	
		モルタルのフロー値試験		
		ロックボルトの引抜き試験	適宜	
34	路上再生路盤工 (材料)	修正CBR試験	材料毎に1回 [試験実施中]	
		土の粒度試験		
		土の含水比試験		
		土の液性限界・塑性限界試験		
	路上再生路盤工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]	
		土の一軸圧縮試験		
		CAEの一軸圧縮試験		
		含水比試験		

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影・提出頻度 [時期]	
35	路上表層再生工 (材料)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回 [試験実施中]	
		旧アスファルトの軟化点		
	路上表層再生工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]	
		温度測定		
		かきほぐし深さ		
		粒度		
	アスファルト量抽出粒度分析試験			
36	排水性舗装工・透 水性舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		アスファルト量抽出粒度分 析試験		
		温度測定		
		水浸ホイールトラッキング試験		
		ホイールトラッキング試験		
		ラベリング試験		
		カンタプロ試験		
	排水性舗装工・透 水性舗装工 (舗設現場)	温度測定		
		現場透水試験		
		現場密度の測定		
		外観検査		
37	プラント再生舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		再生アスファルト量		
		水浸ホイールトラッキング試験		
		ホイールトラッキング試験		
		ラベリング試験		
	プラント再生舗装工 (舗設現場)	外観検査		
		温度測定		
		現場密度の測定		
38	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 [試験実施中]	
		ノッチ深さ		
		スラグ		
		上縁の溶け		
		平面度		
		ベベル精度		
		真直度		
39	溶接工	引張試験	試験毎に1回 [試験実施中]	
		型曲げ試験		
		衝撃試験		
		マクロ試験		
		非破壊試験		
		突合せ継手の内部欠陥に 対する検査		
		外観検査		
		曲げ試験		
		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッ ドジベルについて [試験実施中]	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影・提出頻度 [時期]	
40	工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 〔現物照合時〕	
		在庫品切出	当初の物件で1枚 〔切出時〕 ※他は焼き増し	
		機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 〔試験実施中〕	
44	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜 〔試験実施中〕	
		土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕	